三、圖書課ニ屬スル文書ノ起案ニ關スルコト
四、購入圖書ノ審査ニ關スルコト
五、圖書ノ購入及修繕ニ關スルコト
六、圖書出納簿及其ノ他諸帳簿ノ處理ニ關スルコト
七、圖書目錄編纂ニ關スルコト
八、圖書貸付ニ關スルコト
九、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ保存及整理ニ關スルコト
一〇、書庫、閱覽室及圖書課ノ設備及其ノ物品ニ關スルコト
一一、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第九條　庶務課ノ擔任スヘキ事項左ノ如シ

一、御眞影御影及勅語ノ保管ニ關スルコト
二、校長ノ官印及校印ノ管守ニ關スルコト
三、職員ノ進退、身分ニ關スルコト

四、職員ノ服務ニ關スルコト
五、職員ノ出勤調査及其ノ報告ニ關スルコト
六、雇外國人ニ關スルコト
七、公文書ノ處理ニ關スルコト
八、庶務課ニ屬スル文書ノ起案ニ關スルコト
九、年報、一覽、統計ノ作成及官報報告等ニ關スルコト
一〇、諸規則ノ制定改廢ニ關スルコト
一一、評議會ニ關スルコト
一二、卒業者ニ關スルコト
一三、教員無試驗檢定願ニ關スルコト
一四、日誌及諸記錄ニ關スルコト
一五、諸儀式ニ關スルコト
一六、寄贈金品取扱ニ關スルコト

一七、事務當直ニ關スルコト
一八、職員乘車乘船運賃割引證ニ關スルコト
一九、參觀人以外ノ外來者應接ニ關スルコト
二〇、受附、應接室、庶務課ノ設備及物品ニ關スルコト
二一、他ノ各課ニ屬セサル一切ノ事項

第十條　會計課ノ擔任スヘキ事項左ノ如シ

一、歲入歲出豫算及決算ニ關スルコト
二、資金ニ關スルコト
三、金錢ノ收支保管ニ關スルコト
四、歲入歲出ニ關スルコト
五、會計課ニ屬スル文書ノ起案保存整理ニ關スルコト
六、物品購入及不用物品處分ニ關スルコト
七、物品ノ出納保管及證明ニ關スルコト

八、修繕ニ關スルコト
九、校舍敷地ニ關スルコト
一〇、樹木ノ手入上下水ノ浚渫ニ關スルコト
一一、電話、電燈、瓦斯、給水及煖房取扱ニ關スルコト
一二、校內一般ノ警備取締ニ關スルコト
一三、校舍內外ノ洒掃ニ關スルコト
一四、傭人ノ進退及取締ニ關スルコト
一五、校長室、食堂、當直室、小使室、會計課ニ屬スル物品及他ニ屬セサル物品ニ關スルコト
一六、其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

八、會議規程

一、評議會　各課長、生徒主事及ヒ其他ノ教官ニ依ツテ選擧セラレタル數授若干名ヨリ

成ル評議員ヲ以テ之ヲ組織シ重要事項ニツキ學校長ノ諮問ニ應ス但シ他ノ教官及職員ヲ參與セシムルコトアルヘシ

二、教授會　學校長ハ必要アル場合之ヲ召集シ其ノ意見ヲ徵ス但シ臨時教授以外ノ職員ヲ加フルコトアルヘシ

三、協議會　各課ノ事務ニ關シ必要アル場合之ヲ開會ス主任ノ申請ニヨリ學校長之ヲ召集ス

九、教官服務細則

第一條　本細則ニ於テ教官ト稱スルハ教授、配屬將校、助教授、講師及雇外國人教師ヲ包含ス

第二條　教官ハ其ノ分擔ノ範圍内ニ於テ學校長ニ對シ生徒教育ノ責ニ任ス

第三條　教官ハ學校長ノ命ヲ承ケ諸種ノ試驗其ノ他臨時ノ事務ニ從事スヘシ

第四條　教官ハ教授訓育其ノ他學校ノ利害ニ關係アル事項ニ就キ意見ヲ學校長ニ具申スルコトヲ得

第五條　教官ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ報酬ノ有無ヲ問ハス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第六條　教官ハ疾病其他ノ事故ノ爲ニ出勤シ難キ場合ハ出勤時限前ニ其ノ事由ト缺勤ノ日限トヲ教務課ヲ經テ屆出ツヘシ若シ病氣缺勤ニシテ七日ヲ過クルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘク爾後ハ十五日毎ニ同樣ノ手續ヲナスヘシ

附則

事務員服務細則第六條ヨリ第十五條ニ至ル規程ハ之ヲ教官ニ準用ス

一〇、事務員服務細則

第一條　事務員ハ定時マテニ登校シ出勤簿ニ捺印スヘシ

第二條　事務繁劇若クハ至急處理ヲ要スル者アルトキハ執務時間外ト雖服務スヘシ

第三條　退出時限後ト雖學校長退出ナキトキハ退出スルコトヲ得ス

第四條　執務時間中事故アリテ退出セムトスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第五條　疾病其他ノ事故アリテ出勤シ難キトキハ當日出勤時限前ニ其ノ事由及缺勤ノ日限ヲ課主任ヲ經テ届出ツヘシ若シ疾病ノ爲ニ缺勤七日ヲ過クレハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付シ爾後十五日毎ニ同樣ノ手續ヲナスヘシ轉地療養セムトスル者ハ願書ニ其ノ日限及行先地名ヲ明記シ醫師ノ診斷書ヲ添付シテ許可ヲ受クヘシ

第六條　父母ノ祭日ニ休暇ヲ得ムトスル者ハ其ノ前日願出ツヘシ

第七條　父母看病ノ爲請暇セムトスル者ハ願書ニ其ノ日限（往復共）及行先地名ヲ明記シ許可ヲ受クヘシ父母ノ墓參等ノ爲ニ請暇セムトスル者亦同シ

第八條　休暇ヲ得テ旅行セムトスル者ハ其日限及行先地名ヲ記載シタル届書ヲ出發前ニ差出スヘシ

第九條　出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸校ノ際其ノ旨届出ツヘシ出張ノ命ヲ受ケタル者ハ歸校後五日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十條　喪ニ丁リタル者ハ死者トノ關係及忌服遠慮ノ日數ヲ詳記シテ届出ツヘシ

第十一條　新任ノ者ハ五日以内ニ履歷書及住所届ヲ差出スヘシ爾後住所ヲ轉シタルトキ亦同シ

第十二條　轉免ノ際ハ取扱書類ノ件名簿ヲ作リ引繼ヲナスヘシ

第十三條　課係主任ハ其ノ課ノ事務ニツキ責ニ任ス

第十四條　課員ハ其ノ取扱事項ニ付責ニ任ス

第十五條　近火又ハ事變アルトキハ速ニ登校シ臨機ノ處置ヲナシ直ニ上官ニ報告シ其ノ指揮ヲ受クヘシ

一一、文書處理及保存規程

本規程ニ於テ文書ト稱スルハ圖書以外ノ記錄簿冊等一切書類ヲ謂フ

第一章　處理

第一條　公文書ハ第二條ニ揭記スル者ノ外ハ總テ庶務課ニ於テ接受シ「文書受附配付簿」

ニ登記シ收受番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付シ取扱者ヨリ證印ヲ徵スヘシ

二分課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ

親展書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ

但シ生徒宛ノモノハ總テ生徒課ニ配付スヘシ

第二一條　左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ接受スヘシ

一、教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類及教官ノ缺勤屆書

二、生徒ヨリ差出ス願屆書類

三、入學志願者受驗名票

四、其ノ他學校ノ指定シタル書類

第二二條　配付ヲ受ケタル文書ハ主掌分課ニ於テ「件名簿」ニ登記シ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ具シ課長ヲ經テ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

但シ二分課以上ニ亘ルモノハ豫メ其ノ合議ヲ遂クヘシ

事件ノ性質上直ニ處分案ヲ提出スル能ハサル者若クハ處分ヲ要セスト認ムルトキハ配付文書ヲ課長ヲ經テ學校長ノ閱覽ニ供シ指揮ヲ受クヘシ

第二四條　左ノ文書ハ主掌課長限リ處分スヘシ

一、生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ

二、生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ

三、生徒ノ宿所入寮退寮及諸屆出ニ關スルモノ

四、物品ノ支給ニ關スルモノ

五、一定ノ例規ニ依ルモノ

第二五條　文書ハ總テ主掌分課ニ於テ發案シ順次上司ノ供閱ヲ受クヘシ

二分課以上ニアル者ハ他ノ課ニ合議スヘシ

第二六條　決裁濟ノ文書ハ主掌分掌ニ於テ決濟年月日ヲ記入シ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第二七條　發送ヲ要スル文書ハ件名簿ニ登記シ淨書ト共ニ執務時間內ニ庶務課ニ回付シ件名簿發送濟欄ニ證印ヲ徵スヘシ

至急ヲ要スル文書ニシテ執務時間外ニ發送ヲ要スルモノハ當直員ニ回付シ前同樣ノ手續

ヲ了スヘシ

第八條　庶務課ニ於テ發送文書ヲ受理シタルトキハ之ニ校長印又ハ學校印ヲ押捺シテ直ニ發送ヲナスヘシ

但シ輕易ナル事件ニ付テハ主掌分課印ヲ用フルコトヲ得

第九條　庶務課ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ郵便電信發送簿ニ登記シ證印ヲナスヘシ

第二章　保存

第十條　事件完結シタル文書ハ各主掌分課ニ於テ整理編纂シ之ヲ保存スヘシ

第十一條　文書編纂ノ種類及其ノ保存期間ハ別ニ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ經伺ノ上之ヲ改廢シ若クハ別ニ種類ヲ設クルコト得

第十二條　文書ハ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ

一、事件完結ノ順序ニ依リ曆年（會計ニ關スルモノハ會計年度）ヲ以テ分界トス但シ紙數ノ多寡ニ依リ一ケ年分ヲ便宜分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得

二、卷首ニ件名及索引丁數ヲ揭記シタル目錄ヲ附シ其ノ表紙ニ名稱年若クハ年度保存期間及主掌課係名ヲ記載シ數冊ニ分綴セシモノハ數字ノ符號ヲ附シ尙檢索ヲ容易ナラシムル爲前部切斷面ニ名稱若クハ年度保存期間ヲ標記スルコト但シ保存期間三年ニ屬スル文書ニハ目錄ヲ附セサルコトヲ得

三、圖表類ニシテ合綴シ難キモノハ袋又ハ筥ニ納メテ名稱ヲ標記シ其ノ所在ヲ目錄ニ附記スルコト

第十三條　前條ニ依リ編纂シタル文書ハ文書臺帳（別紙樣式）ニ登錄シテ之ヲ一定ノ場所ニ藏置スヘシ

第十四條　保存期間ハ文書完結ノ翌年ヨリ起算ス但シ會計年度ニ屬スルモノハ翌年度ヨリ起算スヘシ

第十五條　保存期間ヲ了リ若クハ未タ了ラサルモ保存ノ必要ナシト認メタル文書ハ經伺ノ上之ヲ會計課ニ引繼クヘシ但シ一般ノ披閱ヲ避クヘキ文書ハ引繼前經伺ノ上相當ノ措置ヲ爲スヘシ

前項ノ引繼ヲ了リタルトキハ文書臺帳ニ廢棄年月日ヲ記入スヘシ

自昭和　年（度）
至昭和　年（度）

文書臺帳

課（係）

名稱	年（年度）	冊數	保存期間	保存終期	廢棄年月日

二、物品會計規程施行細則

第一章　總則

第一條　本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規則ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ヲ大別シテ備品消耗品ニ分チ備品ノ用途ヲ專用共用ノ二トス共用トハ各課係及特別教室ニ於テ共用スルモノヲ謂ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ謂フ但シ備品消耗品ノ區別ハ其性質及用途ニ依リ之ヲ定ム

第三條　各課係又ハ特別教室ニ物品監守者又ハ物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守消耗品取扱ノ責ニ任セシム但シ職員各自專用ノ物品ハ各自保管ノ責ニ任セシム

第四條　各課係又ハ特別教室ニ於ケル監守者ノ監守區域ハ別ニ學校長ノ定ムル所ニ據ル

第二章　保管及出納

第五條　物品ノ保管及出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第六條　通常所用ノ物品ハ物品會計官吏一ケ年所要高ヲ豫定シ學校長ノ決裁ヲ受ケ一回又ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シタル後之ヲ藏置シ請求ニ應シテ支給スヘシ

第七條　臨時所要ノ物品ハ各課係又ハ特別教室首席者ノ請求ニ依リ物品會計官吏ニ於テ其都度學校長ノ決裁ヲ受ケ購入ノ手續ヲナシ之ヲ支給スヘシ

第八條　生產及寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ見積價格ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ經テ受入ノ手續ヲナシタル後藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第九條　物品會計官吏其ノ受入レタル物品ヲ支給セムトスルトキハ備品ニアリテハ番號札ヲ現品ニ付シ備品支給簿ニ登記ヲ了シ且ツ所定ノ欄ニ領收印ヲ徵シタル後之ヲ物品監守者ニ交付スヘシ

消耗品ニアリテハ物品出納簿ニ拂出ノ登記ヲ了シ且ツ所定ノ物品請求用紙ニ領收印ヲ徵シタル後之ヲ物品取扱主任ニ交付スヘシ

第十條　各課係又ハ特別教室ニ於テ所要ノ物品アルトキハ所定ノ物品請求用紙ニ品目數量所用ノ事由等ヲ記入シ各首席者ノ名義ヲ以テ物品會計官吏ニ請求スヘシ

第十一條　學術上機械ノ製作及修理ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ撰擇スル必要アルモノハ當該教室主任ニ於テ圖面及仕樣書又ハ當業者ノ見積書ヲ徵シ（外國製品等ニシテ見積ヲ徵スル能ハサルトキハ調書ヲ添付）物品會計官吏ニ請求スヘシ

第十二條　物品監守者ハ備品監守簿ヲ物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ設ケ物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ都度之ヲ登記シ備品ニアリテハ其ノ備付場所ヲ監守簿ニ記載シ常ニ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニアリテハ職員各自ノ請求ニ應シテ之ヲ支給シ帳簿ノ當該欄ニ領收印ヲ徵スヘシ

第十三條　各課係又ハ特別教室ニ於テ不用ニ歸シタル物品アルトキハ物品監守者又ハ物品取扱主任ハ所定ノ物品返付書ニ品名番號及數量等ヲ記入シ之ヲ監守簿又ハ受拂簿ニ添ヘ現品ト共ニ物品會計官吏ニ提出シ監守簿又ハ受拂簿ニ受領ノ證印ヲ受クヘシ

第十四條　物品會計官吏物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ將來使用ノ見込アルトキハ保管ノ手續ヲナシ使用ノ見込ナシト認メタルモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ請求スヘシ

第十五條　各課係又ハ特別教室ニ於ヲ物品ノ修理ヲ要スルモノアルトキハ直ニ現品ヲ物品會計官吏ニ提示シ修理ノ請求ヲナスヘシ

第十六條　各課係又ハ特別教室ニ於ヲ物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ監守者又ハ取扱主任其品名數量及番號等ヲ調査シ顚末ヲ具シ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第十七條　物品會計官吏前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ始末書ヲ徵シ處分案ヲ具シテ學校長ノ決裁ヲ請フヘシ

第十八條　物品監守者又ハ物品取扱主任交迭シタルトキハ前主任者及後主任者ニ於ヲ物品會計官吏立會ノ上監守簿ト現品トヲ對照シ其ノ引繼ヲナシタル年月日ヲ帳簿ノ餘白ニ記入シ且ツ各自ニ記名捺印スヘシ

第十九條　甲乙監守者間ニ於ヲ其ノ保管物品ノ受渡ヲ必要トスルトキハ其ノ旨物品會計官吏ニ通告ノ上之カ受渡ヲナスヘシ

第二十條　共用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於ヲ左ノ各號ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、各課係又ハ特別教室ノ消耗品受拂簿ヲ毎月一回消耗品出納簿ニ照査スルコト

二、毎年一回物品出納簿、備品監守簿及消耗品受拂簿ニヨリ各課係又ハ教室ニ就キ現品ヲ查閱シ學校長ニ報告スルコト

三、前號ノ調査ニ於ヲ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ關シ意見アルトキハ學校長ニ申告シ其ノ處理ヲ求ムルコト

第三章　檢閱

第二十一條　物品檢閱ヲ分チテ定期臨時ノ二トス

定期檢閱ハ毎年六月之ヲ施行シ臨時檢閱ハ臨時必要ノ場合ニ之ヲ施行ス

第二十二條　物品檢閱委員ハ委員長一名委員若干名トシ學校職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

委員長及委員ノ任期ハ一箇年トス

第二十三條　物品檢閱委員ノ檢查スヘキ事項左ノ如シ

一、物品保管ノ適否

二、物品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無
五、其ノ他必要ナル事項

第二十四條　物品檢閱ノ際ハ在庫物品ニ就テハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ就テハ物品監守者又ハ物品取扱主任其ノ席ニ列シ檢閱委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十五條　物品檢閱委員ニ於テ檢查上故障ナシト認メタルトキハ簿冊ニ檢印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ徵スルコトヲ得

第二十六條　物品檢閱委員其ノ檢查ヲ了シタルトキハ檢查ノ顚末書ニ意見ヲ具シ委員長ヲ經テ學校長ニ申告スヘシ

第三章　諸帳簿

第二十七條　物品會計官吏ハ物品ノ保管出納ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一、備品出納簿（第一號樣式）
二、圖書受入原簿（第二號樣式）
三、消耗品出納簿（第三號樣式）
四、備品原簿（第四號樣式）
五、備品支給簿（第五號樣式）
六、備品監守簿（第六號樣式）
七、消耗品受拂簿（第七號樣式）
八、郵便切手受拂簿（第八號樣式）

二三、圖書取扱規程

第一條　本校所有ノ圖書ハ總テ圖書課ニ於テ之ヲ藏置ス

第二條　本校所有ノ圖書ハ擔當事務員ノ外出納ヲナスコトヲ得ス

第三條　圖書課ニ於テハ本校所藏ノモノヽ外他ノ委托ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ

細則

第四條　教務及事務上必要ノ圖書ハ項科主任又ハ各課長各課主任ニ於テ之ヲ借受ケ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得

第五條　教官ハ一員二十冊事務員ハ一員五冊ヲ限リ圖書借用スルコトヲ得但シ和漢裝ノモノハ本文冊數ヲ倍スルコトヲ得

第六條　貴重圖書又ハ閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書類及辭書ハ貸出ヲ拒ムコトアルヘシ

第七條　職員ハ係員ヘ通知ノ上書庫ニ於テ圖書ヲ檢索スルコトヲ得

第八條　圖書ヲ借用セムトスルモノハ所定ノ手續ヲナスヘシ

第九條　借用シタル圖書ハ毎年一回九月一日ヨリ十日迄ニ悉皆返納スヘシ但シ必要アルトキハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第十條　圖書閱覽室ハ左ノ期日ニ於テ之ヲ閉ツ但シ必要ノ場合ニハ學校長ノ許可ヲ經テ臨時開館スルコトアルヘシ

一、日曜日

二、大祭祝日

三、八月一日ヨリ八月卅一日迄

四、十二月廿五日ヨリ一月七日迄

五、創立記念日

圖書閱覽室開閉ノ時限ハ隨時之ヲ告示ス

第十一條　圖書閱覽室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校職員、生徒及特ニ學校長ノ許可ヲ得タルモノトス

第十二條　生徒圖書閱覽票ハ生徒入學ノ際特許閱覽票ハ隨時之レヲ交付ス

第十三條　生徒閱覽票及特許閱覽票ハ他ニ之ヲ轉貸スルコトヲ得ス之ヲ遺失シタル時ハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第十四條　圖書ヲ閱覽セムトスルモノハ圖書閱覽請求用紙ニ所定事項ヲ記入シ閱覽票ト共ニ係員ヘ差出スヘシ

第十五條　生徒一人ニテ一時ニ閱覽シ得ヘキ圖書數ハ係員ニ於テ制限スルコトアルヘシ

第十六條　生徒ニシテ圖書帶出ノ必要ヲ認ムルトキハ圖書課長及當該圖書所屬ノ學科敎授ヲ經テ願出ツルコトヲ得

第十七條　特別敎室備付ノ圖書ヲ閱覽セムトスル者ハ當該學科主任ノ許可ヲ得テ閱覽スルコトヲ得

第十八條　閱覽者ハ圖書ヲ閱覽室外ニ携出スヘカラス又圖書ヲ他人ヘ轉貸スヘカラス

第十九條　閱覽室ニ於テハ左ノ事項ヲ嚴守スヘシ

一、喫煙、音讀、談話、飮食等總テ他人ノ妨害トナルヘキ行爲アルヘカラス

二、制服又ハ袴ヲ着用スヘシ

三、卓子、腰掛其他備付器具ノ位置ヲ變更又ハ汚損スヘカラス

第二十條　前二條ノ規定ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリタル者ハ一定ノ期間閱覽ヲ禁止スルコトアルヘシ

第二十一條　總テ借覽ノ圖書ハ鄭重ニ取扱フヘシ若シ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ之ヲ辨償セシメ又ハ修理ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

一四、非常警備ニ關スル規程

第一條　校内若クハ近傍ニ於テ火災其ノ他非常ノ事變アリタル時ハ職員及生徒ハ直ニ駈付ケ左ノ任務ニ從事スヘシ

一、報知

學校長、檢察署、各課主任、生徒監、寄宿寮及學校附近所在ノ職員ヘ電話又ハ他ノ方法ヲ以テ直ニ通報スヘシ

二、消防

消防器、消火栓、喞筒其ノ他適當ノ方法ニ依ルヘシ

三、運搬

各室内非常持退ノ印アルモノ圖書、機械、標本其ノ他ノ器具

四、警備

門及其他ノ要所ニ高張提灯ヲ掲クルコト

職員及生徒ハ應援者ノ外妄ニ構内ニ入ラシメサルコト

搬出品ヲ監守スルコト

第二條　非常用トシテ左ノ器具ヲ備付ケ且ツ其ノ所在及使用方法等ヲ一般ニ周知セシムヘシ

一、消火栓

二、消火器

三、喇筒及水管

四、高張提灯

五、用心桶

六、其ノ他必要ナル器具

前項ノ器具ハ會計課ニ於テ時々檢査スヘシ

第三條　本校職員ノ住宅等火災ノ節又ハ其ノ虞アルトキハ本校生徒ヲシテ臨時應援セシムルコトアルヘシ

第四條　煙突ハ毎週所定ノ回數之ヲ掃除シ電燈線及瓦斯栓ニ異狀ヲ發見シタルトキハ直ニ絶緣器ヲ外シ其ノ旨各會社ニ急報スヘシ

第五條　火鉢、煖爐等使用中ハ特ニ注意シ終業退廳後又ハ使用後ハ直ニ火氣及火燼ヲ取除カシメ一定ノ場所ニ於テ之レカ處理ヲナスヘシ

一五、當直規程

第一條　當直ハ庶務當直及寮務當直ノ二トス

第二條　庶務當直ハ書記以下輪番ヲ以テ之ニ服シ寮務當直ハ生徒課勤務ノ職員輪番ヲ以テ之ニ服ス

學校長ハ時宜ニ依リ當直勤務ヲ轉換スルコトアルヘシ

第三條　第二條以外ノ當直ヲ必要ト認ムル場合ニハ學校長ハ特ニ之ヲ命ス

第四條　當直ノ時限左ノ如シ

二、平日ハ退廳時刻ヨリ翌日出勤時刻迄

二、休日ハ平日ノ出勤時刻ヨリ翌日出勤時刻迄

第五條　當直員ハ勤務中學校ヲ離ルヽコトヲ得ス

第六條　當直員ハ其ノ勤務中取扱ヒタル事件ヲ當直日誌ニ認メ翌日庶務課長或ハ生徒課長ニ申告スヘシ翌日若シ休日ナルトキハ交代ノ者ニ必ス事務ノ引繼ヲナシテ退出スヘシ

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ當直ヲ免ス

一、出張ノ前日及歸校ノ翌日

二、病氣缺勤中

三、賜暇ノ當日

四、忌引中

五、新任ノ場合ニ在リテハ着任ノ日ヨリ起算シ六日目迄

六、以上ノ外學校長ニ於テ除直スヘキ必要アリト認メタルトキ

第八條　當直員ハ止ムヲ得サル事故ノ爲當日勤務ニ差支アルトキハ庶務課長或ハ生徒課長ノ許可ヲ得テ同僚ヲ以テ代直ヲ立ツルコトヲ得

第九條　庶務當直員ハ當直ノ際庶務課ヨリ左ノ物件ヲ受取ルヘシ

一、當直日誌

二、諸室鑰鑰

三、職員住所簿

四、電信用符號簿

五、當直用郵便切手及發送簿

第十條　庶務當直勤務ノ主要事項概ネ左ノ如シ

一、第九條ノ物件保管ヲナスコト

二、校丁ヲ監督シ校舍内外ノ取締ヲナスコト

三、接受シタル物件ヲ處理スルコト

四、烈風及變時ニハ特ニ注意シ校舍内外ヲ巡視シ火氣其ノ他火災ノ虞アル器物ノ取締ヲナスコト

第十一條　寮務當直員ハ寄宿寮ノ管理及取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ處理スヘシ

第十二條　當直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヲナスヘシ

一、親展公文書並ニ職員宛私文書其ノ他ノ物件ハ翌日夫々之ヲ回付シ電報其ノ他急速ヲ要スト認ムヘキモノハ直ニ宛名ノ者ニ發送スヘシ

二、親展ニアラサル公文書ハ直ニ開封シ夫々處理スヘシ

第十三條　當直中非常異變アルトキハ直ニ學校長、各課長又ハ主任生徒主事及學校附近所在ノ職員ニ報知シ事急ナル時ハ臨機ノ處置ヲナスヘシ但シ別ニ定ムル非常警備ニ關スル規程ニ準據スヘシ

○職員

（昭和四年九月現在）

學校長

文學士	戸澤正保	茨城

教授

文學士	野間眞綱	鹿兒嶋
文學士	安齋宏索	宮城
文學士	成田衡夫	和歌山
理學士	小岩井彙輝	茨城
彌富破摩雄		熊本
理學士	泉亮一郎	愛媛
文學士	久野眞吉	愛知

英語
獨語
漢文
地質、鑛物、自然科學、地理
國語
動物、植物、自然科學
英語

職員

職員

物理（休職中）　理學士　小林惇　福嶋

法制、經濟　法學士　芳賀武雄　青森

獨語　文學士　堀內尚同　靜岡

西洋史（在外研究中）　文學士　渡邊鼎　石川

國語　三浦圭三　兵庫

化學（在外研究中）　理學士　菊池末太郎　青森

日本史、東洋史　文學士　布施俊　島根

心理、論理　文學士　西德道　東京

英語　文學士　長谷川誠治　愛知

物理　理學士　小山民造　兵庫

獨語　文學士　國枝俊文　岐阜

獨語　西鄉啓造　神奈川

圖書（用器書）　工學士　吉峰弘造　京都

數學　理學士　手塚昇市　栃木

修身、哲學　文學士　川邊完道　愛知

數學　理學士　吉村英太　北海道

修身　文學士　宮城敏夫　京都

物理、自然科學（物理化學）　理學士　若桑光雄　福嶋

獨語　文學士　澁谷準藏　神奈川

化學　理學士　中村九郎　長野

生徒主事

（兼）　前出　川邊完道

配屬將校

體操　步兵第五聯隊附陸軍步兵中佐　野中直一　山口

職員

職員

傭外國人教師

（就職順）

獨語　オトー●トーナク　獨國

英語　ジエー●エル●トマス　英國

講師

（就職順）

體操　陸軍步兵特務曹長　黑瀧俊一　青森

體操　陸軍步兵特務曹長　齋藤角太郎　青森

圖書（自在書）　青森縣立弘前高等女學校教諭　相馬治四郎　山形

漢文　文學士　森茂　山形

英語　文學士　伊藤政市　長野

體操　陸軍步兵大尉　高畠長政　秋田

西洋史　文學士　竹村越三　石川

修身　文學士　高橋幸太　東京

囑託教師

（就職順）

柔道　永澤誠藏　北海道

劍道　中西俊爾　石川

體操　小坂義衛　青森

助教授

（本職中）

野村義雄　京都

生徒主事補

伊藤謙二　福岡

職員

書記

物品會計官吏

小山內浩 青森
宮澤抱策 宮城
葛西不二男 青森
吉井忠造 鹿兒島
齋藤良一 青森
二川政吉 鹿兒島

（休職中）

助手

鳳至武智夫 青森

雇

（就職順）

葛西孝之助 青森
笹森隆三 青森
對馬武雄 青森
桂二郎 青森
高橋一智 青森
佐々木清吉 青森
福士正雄 青森
高畑浩 秋田

囑託

弓道

佐藤信敬 青森

學校醫

市立弘前病院長 醫學博士 天木順吉 愛知

學級主任

文科第三學年第一學級	教授	彌富破摩雄
文科第三學年第二學級	教授	野間眞綱
文科第三學年第三學級	教授	西德道
理科第三學年第一學級	教授	手塚昇市
理科第三學年第二學級	教授	小山民造
文科第二學年第一學級	教授	芳賀武雄
文科第二學年第二學級	教授	三浦圭三
文科第二學年第三學級	教授	成田衛夫
理科第二學年第一學級	教授	若桑光雄
理科第二學年第二學級	教授	吉村英太
文科第一學年第一學級	講師	森茂

文科第一學年第二學級	講師	伊藤政市
文科第一學年第三學級	教授	澁谷準藏
理科第一學年第一學級	教授	吉峰弘造
理科第一學年第二學級	教授	泉亮一郎

學科主任

修身、哲學概說、心理及論理	教授	西德道
國語	教授	彌富破摩雄
漢文	教授	成田衛夫
英語	教授	野間眞綱
獨語	教授	安齋宏索
歷史	教授	布施俊
法制及經濟	教授	芳賀武雄

職員

數學　教授　吉村英太
物理　教授　小山民造
化學　教授　中村九郎
植物及動物　教授　泉亮一郎
地質、鑛物及地理　教授　小岩井兼輝
圖書　教授　吉峰弘造
體操　配屬將校　野中直一

評議員

教授　野間眞綱
教授　安齋宏索
教授　成田衡夫
教授　彌富破摩雄

教授　泉亮一郎
教授　川邊完道

職員

職員

○事務分課

教務課

課長

動物及植物學科助手

地質及鑛物地理科助手

化學科助手

物理學科助手

生徒課

教授　安齋宏索

書記　宮澤抱策

助手　鳳至武智夫

雇　葛西孝之助

雇　笹森隆三

雇　桂二郎

雇　高橋一智

雇　福士正雄

課長

教授兼生徒主事　川邊完道

主事補　伊藤謙二

講師　黒瀧俊一

講師　齋藤角太郎

講師　高畠長政

講師　高橋幸太

教師　永澤誠藏

教師　中西俊爾

教師　小坂義衛

圖書課

課長

教授　野間眞綱

助教授　野村義雄

職員

職員

雇　對馬武雄
雇　佐々木清吉

庶務課

課長　教授　安齋宏索
書記　葛西不二男
（兼）雇　福士正雄

會計課

主任　書記　小山内浩
書記　齋藤良一
書記　二川政吉

○生徒及卒業生

（昭和四年四月現在）

一、生徒氏名（五十音順）

（氏名ノ上段ハ出身學校名
下段ノ（）ハ本籍府縣名）

文科第三學年第一學級（三十八名）

東京府第四　東清英（熊本）
開成　阿部章弘（群馬）
大館　伊藤鞠郎（秋田）
秋田　伊藤光夫（秋田）
明治　家永英吉（東京）
臺北第一　石渡文雄（神奈川）
弘前　大高勝次郎（青森）
京都第一　太田爲弘（京都）
小田原　奥津眞平（神奈川）

秋田　加賀谷篤一郎（秋田）
東奥義塾　工藤元一（青森）
青森　工藤勇助（青森）
京都第三　楠正（京都）
青森商　小泉靜治（青森）
東京府第四　小幡康哉（千葉）
名寄　佐藤貞一（新潟）
白石　佐藤新吾（宮城）
大館　櫻庭久雄（秋田）

磐城　白井武夫（福島）
宇和島　上甲良雄（愛媛）
東京府第三　菅原敏夫（岩手）
濱松第一　高部省吾（靜岡）
青森　千葉元江（青森）
青森　津島修治（青森）
京華　塚原肅（滋賀）
花園　富田弘宗（山梨）
東京府第五　中島新太郎（東京）

弘前 成田哲夫（青森）　宇都宮 松澤義雄（栃木）
三池 服部義彦（福岡）　宇都宮 三浦正次（群馬）
旅順第一 平瀬嘉美（山形）　札幌第二 三田村東一（石川）
東京府第五 松本眞雄（東京）　新發田 皆川芳夫（新潟）

文科第三學年第二學級（三十四名）

東奥義塾 新谷武四郎（青森）　盛城 小坂龜雄（東京）
太田原 阿久津壽（栃木）　宇都宮 小林滿（栃木）
弘前 伊藤正浩（青森）　芝 小林伸男（東京）
東京府第六 池田五郎（東京）　三養基 古賀善次郎（佐賀）
札幌第二 上山正二（北海道）　太田原 齋藤武夫（福島）
東京府第一 加藤幸藏（秋田）　東京府第二 西條俊一（山形）
弘前 菊池正（秋田）　弘前 坂田二郎（青森）
東北 鬼川誠（秋田）　太田原 坂本龍太（栃木）

福島 宮下利一
野澤 諸澤肅
東京府第一 山本英一（大阪）
青森 嶋邦男（青森）
仙臺第一 鈴木喜四郎（宮城）
弘前 高田輝雄（廣島）
一ノ關 千葉長治（岩手）
岩見澤 南部農夫治（山口）
秋田 新田七郎（秋田）
富士 野村治郎（靜岡）
沼津 服部勳（靜岡）

室蘭 藤井周吉（北海道）　甲陽 三善協中（兵庫）
陸軍幼年學校 藤井幸之助（青森）　弘前 三上貞雄（青森）
京都第二 松井治（京都）　秋田 三國友治（秋田）
室蘭 三戸幹夫（廣島）　弘前 三浦德太郎（青森）

文科第三學年第三學級（三十六名）

東京府第一 赤井紀夫（福島）　世田ヶ谷 大澤良範（福島）
米澤 安部晉一（山形）　弘前 大平泰治（青森）
盛岡 阿部清治郎（岩手）　甲府 片桐謙一（宮城）
順天 市川善宗（長野）　都文館 金井勇（東京）
濱濱第二 岩橋一雄（和歌山）　諏訪 久保田周介（長野）
眞岡 池葉惇（栃木）　富岡 紅露皓一（德島）
盛岡 上田重彦（岩手）　熊谷 小宮義治（埼玉）
東京府第三 井尻喜之祐（京都）　新發田 佐藤貫衛（新潟）

福島 安田正（福島）
錦城 吉田敏夫（秋田）
青森 島田慶司（青森）
麻布 柴田數郎（茨城）
石川 鹿内健三（青森）
龍ヶ崎 竹内精一（茨城）
秋田 高根五郎（秋田）
成城 太宰友次郎（福島）
成見澤 辻村朔郎（北海道）
北海 德永俊夫（北海道）

弘前　鳴海理三郎（青森）　大成　保坂虎雄（栃木）
東京府第七　中山良男（東京）　彦根　松原五千郎（滋賀）
鶴岡　成澤與一郎（山形）　大成　三關幸太郎（東京）
廳布　廣澤照彦（青森）　弘前　宮本誠三（青森）

理科第三學年第一學級（四十三名）

大館　阿部忠一郎（秋田）　小倉　宇佐美一雄（福岡）
錦城　安倍亮（大分）　北海　大西亥輔（北海道）
秋田商　有坂廉治（秋田）　明治學院中　大竹利郎（靜岡）
東京府第三　青木珠美雄（東京）　仙臺第一　及川象平（宮城）
水戸　會澤政規（茨城）　仙臺第一　及川秀之輔（宮城）
弘前　秋田勝雄（青森）　函館　奥瀬槐三（千葉）
眞岡　飯塚大東（栃木）　青森　柏木正一（青森）
青森　上野泰彦（青森）　桐生　梶晴雄（栃木）

弘前　村井等（岩手）　大連第一　北川政夫（三重）
順天　山下謙治（東京）　盛岡　木村忠司（北海道）
伊那　矢野最輝（長野）　順天　栗原文雄（栃木）
札幌師　吉田外次郎（北海道）　弘前　工藤廣世（青森）
函館　工藤長造（北海道）
札幌第二　佐藤桂也（宮城）
浦和　酒井澄（群馬）
大泊　鈴木重光（廣島）

喜多方　鈴木大（福島）　弘前　寺山敏彦（青森）　八幡宮　下常次（新潟）
海南　徂徠保藏（和歌山）　秋田　松井彦三（秋田）　大館　綠川林造（福島）
諏訪　竹内肥富美（長野）　東京府第四　新田勉（東京）　臼杵　見塩忠海（大分）
函館　武田剛（北海道）　廳布　土師俊次郎（東京）　高尾　山莊一雄（大阪）
東北學院中　高橋剛一郎（宮城）　早稻田　廣瀨秀雄（茨城）　旭川　山本靜（北海道）
弘前　津川武一（青森）　高田　星野伸男（新潟）
東京府第六　對馬一郎（東京）　給豐　九山十八鼎（埼玉）

理科第二學級（三十五名）

湘南　赤木玄（兵庫）　旭川　岡部重明（京都）　宇都宮　黑崎良三（栃木）
光澤　飯塚榮次郎（秋田）　攻玉社　大脇巖（北海道）　高田　草刈正清（滋賀）
小倉　上田彩夫（福岡）　札幌第一　柿本六也（北海道）　新發田　小林透（新潟）
弘前　小野宗一（青森）　弘前　木津谷泰治（青森）　弘前　佐々木貞二（青森）
水海道　小田川國水（茨城）　青森　工藤文健（青森）　弘前　齋藤利雄（青森）

成東	島田 博（千葉）	專檢 築館 熊雄（青森）
浦和	島田 通男（埼玉）	大館 津谷 忠夫（秋田）
國領	島野 正夫（北海道）	小田原 戸澤 貞（神奈川）
弘前	澁谷 良次（青森）	磐城 永井 元康（福島）
弘前	庄司 初郎（宮城）	國領 成田 敏男（青森）
旭川	鈴木 卓雄（北海道）	弘前 野宮 義臣（青森）
日本大學中	谷口 益郎（茨城）	青山學院附 野原 正（三重）

文科第二學年第一學級（三十九名）

大館	石橋 英夫（島根）	青森 大川 慶太郎（青森）
廣島陸軍幼	伊藤 文夫（北海道）	東京府第四 大下 清彦（京都）
喜多方	井上 國男（福島）	京都第三 大井 正義（愛知）
小樽	小熊 政吉（北海道）	前橋 大河原 秀雄（群馬）
松山	小熊 又三（埼玉）	上野 北原 耕一（三重）

立教	林 靜一（千葉）	新潟師 桑原 正信（新潟）
東京府第二	平岩 通夫（鳥取）	盛岡 黒部 俊一（山形）
豐橋	水口 三郎（富山）	熊谷 經塚 四礎人（富山）
米澤	山口 慶太郎（山形）	光州 吳 德淳（朝鮮）
成東	山本 秀行（千葉）	横手 佐々木 眞綱（秋田）
弘前	油井 直行（青森）	

帶廣	佐藤 永弋（岩手）	松本 田代 繁雄（神奈川）
太田原	佐原 良輔（栃木）	東京府第四 高山 春樹（長崎）
東奥義塾	里見 眞平（青森）	鍋路 中西 六三（北海道）
網走	設樂 幸男（東京）	藤岡 原田 七五三藏（群馬）
京都第一	鈴木 光武（千葉）	八戸 林 德右工門（青森）
盛岡	菅原 正彥（岩手）	弘前 羽賀 靖（青森）
弘前	關 壽（青森）	浪速 平野 明（東京）
三次	世良 英夫（廣島）	弘前 菱谷 莊治郎（青森）

文科第二學年第二學級（三十三名）

日川	石倉 初男（山梨）	余市 笠島 彊一（北海道）
弘前	一戸 正三（青森）	弘前 加福 益造（青森）
豐島師	江川 良平（岐阜）	根室 木村 五一（秋田）
東京府第六	小川 潤一（東京）	青森 木村 要次郎（青森）

長野	松本 勝（長野）	青森商 倉內 重次郎（青森）
本庄	宮澤 威博（長野）	成城 栗原 泰次郎（東京）
弘前	三上 俊雄（青森）	桃山 工藤 四郎（長野）
八戸	村井 清（青森）	八戸 小島 淳道（青森）
小倉	守田 公夫（熊本）	
麻布	森本 文雄（千葉）	
岩國	山縣 千萬人（山口）	
旅養	吉彙 政秀（德島）	

高根　小高根二郎（秋田）
富山商　齋藤　保（富山）
東京府第四　座間一郎（千葉）
岸和田　坂田悌三（大阪）
錦城　椎野　新（徳島）
日高　田端健一（北海道）
仙臺第一　蛸八郎右工門（宮城）

文科第二學年第三學級（二十五名）

京都第一　青木豪（京都）
大多喜　石井靜雄（千葉）
磐城　宇佐神正康（福島）
八雲　鵜飼直輝（愛知）
金澤第一　大澤錠二（石川）

富岡　高橋久（群馬）
第一鹿兒島　長野達（福井）
八女　中島嵐比古（福岡）
長岡　中林新（新潟）
甲府　仲澤一正（山梨）
東奥義塾　成田留一（青森）
酒田　兵藤健作（山形）

宇都宮　增淵俊一（栃木）
尾張　牧原彦平（愛知）
花園　馬淵丹治（滋賀）
國士舘　三浦竹男（青森）
高田　三上孝廉（新潟）
錦城　茂木潤一郎（千葉）
錦城　吉田春雄（東京）

弘前　小田桐孫一（青森）
青森商　工藤慶三（青森）
錦城商　小杉錄之助（東京）
弘前　小林麟太郎（青森）
弘前　佐藤誠次郎（青森）

國館　窪田育造（青森）

横濱第一　佐藤滋雄（東京）
新發田　佐藤久雄（新潟）
相馬農蠶　佐藤智恒（福島）
京都第三　柴田五郎（滋賀）
仙臺第二　鈴木義雄（宮城）
關西　田中黃光（廣島）
田邊　田中大六郎（和歌山）

秋田　高橋匡四郎（秋田）
仙臺第一　津久井信也（栃木）
古川　豊岡忠（宮城）
日本　野口義長（東京）
芝　橋本秀一（東京）
八戸　福田伴美（青森）
小樽　藤野健治（北海道）

東京獨協　松山道夫（三重）
盛岡　松本敬吾（岩手）
旭川　三宅一郎（佐賀）
旭川　村田藤尙（北海道）
佐倉　武藤勇次郎（東京）
弘前　山本耕次（青森）

理科第二學年第一學級（四十名）

沼津　安藤正弘（靜岡）
都留　天野銀彌（山梨）
秋田　五十嵐直（秋田）
弘前　石戸谷賢慥（青森）
三條　石田達也（新潟）

高崎　石井彌平（群馬）
前橋　木島德一郎（群馬）
長野　佐々木　信（長野）
弘前　佐々木省吾（青森）
遠野　佐々木松太郎（岩手）

横手　佐藤武夫（宮城）
弘前　佐藤知信（青森）
本莊　佐藤力之助（秋田）
岩手工　佐藤秀治（岩手）
弘前　白岩正夫（福島）

根室商　清水捷二郎（北海道）　廣陵　中本一明（廣島）
青森　杉山秀次郎（青森）　畝傍　中原健太郎（奈良）
横手　須田確二（秋田）　福岡　長岡善一郎（岩手）
仙臺第二　高橋武夫（宮城）　旭川　長野重次（北海道）
芝　高山馨（秋田）　弘前　成田四萬夫（青森）
青森　田中敏文（青森）　松本商　橋倉勝治（長野）
函館　田端正男（北海道）　鳥取第一　林正浩（鳥取）
新潟　寺田利男（茨城）　函館　島山芳夫（北海道）
横濱第一　德丸賢之助（神奈川）　新發田　八田秀三郎（長野）

理科第二學年第二學級（三十九名）

旭川　厚見秀雄（埼玉）　東京府第二　石川保（東京）
青森　伊東邦男（青森）　唐津　石河英一（佐賀）
一ノ關　伊藤恭（岩手）　甲府商　井上清光（山梨）
弘前　成東　花澤重雄（千葉）
松本　古谷良平（岐阜）
弘前　丸山翠（青森）
八尾　村井良三（大阪）
桑名　山本文次郎（三重）
太田　吉田正久（茨城）
龍ヶ崎　横瀨丈夫（茨城）
成東　上田文洋（千葉）
豊橋　河合繁平（愛知）

東京府第四　樺島三雄（東京）　東京府第四　關根實（東京）
仙臺第二　上石一男（宮城）　太田　錢場愛雄（茨城）
日川　片倉逸（山梨）　日本　瀧澤敏夫（新潟）
弘前　栗林初男（青森）　青森　舘山健（青森）
脇町　源田筆雄（德島）　京北　土棟清正（青森）
土浦　小貫信郷（栃木）　遠野　照井貞雄（岩手）
弘前　小岩井隆（茨城）　開成　豊島隆（鹿兒島）
青森　柴田治三郎（青森）　村上　遠山秀夫（新潟）
函館　清水美虎（東京）　弘前　船水四郎（青森）
青山學院中　杉浦良雄（東京）　安積　星龜撤（福島）

文科第一學年第一學級（四十名）

弘前　相澤文藏（青森）　早稻田實　内田誠（埼玉）
青森　稻見修次郎（青森）　村上　小田定一（新潟）
水戸　松尾繁（茨城）
盛岡三田俊定（岩手）
秋田　宮越六郎（秋田）
甲府　宮川勝馬（山梨）
横手　山田章次（秋田）
弘前　山本耕一（青森）
都留　山口忠（山梨）
弘前　山田竹松（青森）
大館　和田忠貞（秋田）
白石　亘理二郎（宮城）
盛岡　鋭朝夫（岩手）
開成　上村輔道（東京）

田村　川又　亮吉（福島）　入戸　高橋　謙三（青森）
龍ケ崎　河原崎　俊夫（茨城）　島根工　高橋　博（島根）
鳥取第二　君野　良助（鳥取）　弘前　高杉　隆良（青森）
弘前　工藤　寛（青森）　喜多方　高木　之武（福島）
弘前　工藤　徹郎（青森）　磐城　高萩　精玄（福島）
京都第三　神田　誠一（三重）　名寄　田内　武男（北海道）
中津　佐藤　吉之助（大分）　青森　名久井　良作（青森）
大館　坂本　新一（秋田）　第二鹿児島　二階堂　大作（鹿児島）
新木　志鳥　重雄（新木）　柏崎　野口　三郎（新潟）
一ノ關　菅原　次麿（岩手）　三條　廣野　俊雄（新潟）
札幌第二　菅野　浩（福島）　青森　福士　壽夫（青森）
弘前　鈴木　清造（青森）　喜多方　星　義人（福島）

文科第一學年第二學級（四十名）

盛岡　又重　盛一（岩手）
松本　宮島　俊夫（長野）
盛岡　宮野　實（岩手）
秋田　村山　多七郎（秋田）
海津　森　武雄（岐阜）
東京府第一　山本　純三郎（和歌山）
生野　山田　彰（愛知）
金澤第一　安江　四郎（石川）
沼津　湯山　孝（靜岡）
村上　渡邊　孝雄（新潟）

立命館　秋山　肇（東京）
東奥義塾　阿部　政英（青森）
水戸商　石田　俊夫（茨城）
住吉　植田　爲次郎（大阪）
佐沼　內館　新平（岩手）
青森　大井　一策（東京）
淸々堂　岡林　克巳（高知）
第二神戸　金田　繁雄（大阪）
大館　木村　義行（秋田）
磐城　木幡　英男（福島）
弘前　小林　一夫（秋田）
本莊　小林　彬夫（秋田）
旗手　後藤　欣五郎（秋田）

仙臺第一　佐藤　富士郎（岡山）
明治　佐藤　誠（千葉）
出水　酒匂　節（鹿児島）
東京府第六　柴田　明德（東京）
開成　島田　進吾（埼玉）
安積　鳴原　祐吉（福島）
北野　助野　顯三（兵庫）
青山學院中　須藤　繁彌（青森）
磐城　鈴木　義忠（福島）
龍ケ崎　高松　長術（茨城）
仙臺第一　高橋　新哉（宮城）
小樽　高田　貞次（青森）
順天　竹澤　茂（千葉）

青森　田川　英藏（青森）
天王寺　土岐　大（大阪）
新發田　中村　豊（長野）
大館　乳井　由郎（秋田）
第二東京　野村　宗夫（鹿児島）
東京府第五　原　正夫（佐賀）
八戸　福田　吉郎（青森）
黒澤尻　藤田　清一郎（岩手）
神道　三輪　不二夫（富山）
高千穗　村野　孝（東京）
上野　森嶋　清（奈良）
盛岡　山田　五郎（岩手）

東京府第二　綿引道夫（東京）

文科第一學年第三學級（四十名）

早稻田實　足立清吾（東京）　横濱第一　川端豐彥（神奈川）
芝　有馬俊夫（東京）　日川　風間久四郎（山梨）
高崎　石田信夫（群馬）　旭川　加藤巖（北海道）
青山學院中　石田清實（島根）　甲陽　影山三郎（栃木）
開成　石田眞平（宮城）　東奥義塾　葛西靜三（青森）
東北　今泉貞治郎（宮城）　眞岡　苅部安正（栃木）
豊山　生野隆三（奈良）　角館　草薙甚榮（秋田）
高多方　大原輔（福島）　弰城　小越義孝（茨城）
東北實　大金英助（栃木）　弰城　小泉初男（秋田）
小樽　太田孝（北海道）　甲府　小池敏隆（山梨）
山形　小栗量忠（秋田）　豊岡　佐伯昌（兵庫）

東奥義塾　佐野完造（青森）
酒田　佐藤專治（山形）
松山　齋藤正義（埼玉）
高千穗　柴田研一（千葉）
安房　鈴木啓示（千葉）
佐原　關口和吉（茨城）
仙臺第一　只野武志（宮城）
北野　津田二郎（和歌山）
東奥義塾　中村誓孝（青森）
佐沼　中野行雄（宮城）
石川　羽賀清輝（青森）

北野　補沓卓爾（大分）　本莊　九山喜代松（秋田）　青森　横山榮夫（青森）
豊原　堀非俊雄（東京）　八戸　盛田孝七（青森）
盛岡　又重陸三（岩手）　足利　山田貫潤（栃木）

理科第一學年第一學級（四十名）

黒澤尻　阿部圓治郎（岩手）　國館　窪田亮明（青森）　青森　長島武四郎（青森）
金澤第二　岩山啓（石川）　弘前　佐藤友三（青森）　弘前　成田一雄（青森）
東京府第八　石川儀男（東京）　弘前　佐藤光雄（青森）　弘前　中村義一（青森）
大館　越前屋卯一（秋田）　青森　鹽谷清助（青森）　太田　林正男（愛媛）
東京府第八　井上清（千葉）　甲府　清水文人（福井）　富田林　端山經久（大阪）
弘前　小笠原正雄（青森）　築館　高橋三智男（宮城）　弘前　橋本俊（青森）
青森　小川貞將（青森）　東奥義塾　對馬健（青森）　弘前　長谷川淳（青森）
弘前　釜蒱敏夫（青森）　弘前　寺田仁郎（青森）　安積　樋渡大次（福島）
大館　北村勇（秋田）　弘前　外崎壽男（青森）　川邊　本坊藏吉（鹿兒島）

佐渡	本間敬爾（新潟）	黒澤尻	宮川顯二（岩手）
第三神戸	前田壽一（兵庫）	荏原	水木四郎（京都）
弘前	丸山慶三（青森）	横手	村上實（秋田）
瑯浦	南谷知忠（岐阜）	弘前	森美佐男（東京）
米澤	水無瀬網政（山形）	弘前	森富夫（福島）

理科第一學年第二學級（四十名）

仙臺第一	伊東祐男（宮城）	弘前	神崎正美（岩手）
八戸	泉山達郎（青森）	札幌第二	貝塚皓（神奈川）
青山學院中	岩淵秀夫（岩手）	弘前	菊池洋（青森）
青森	蝦名七郎（青森）	岩見澤	黒川恒雄（北海道）
三本木農	小笠原仁二郎（青森）	米子	小林國司（鳥取）
黒澤尻	及川俊平（岩手）	會津	小瀧英雄（福島）
平泉	勝正敏（千葉）	八戸	小比類巻嘉一（青森）

青森	山本徹男（青森）	弘前	鈴木新一郎（青森）
一ノ關	八巻壽亮（岩手）	黒澤尻	帶刀喜久男（岩手）
仙臺第一	横山徹郎（宮城）	大多喜	竹下象一（千葉）
新發田	佐藤隆夫（新潟）	弘前	鶴谷正文（青森）
盛岡	佐藤尚輔（岩手）	札幌第二	出町豊（北海道）
弘前	櫻田德次郎（青森）	甲陽	時澤通夫（山口）
青森	櫻田晉（青森）	秋田商	富塚恭藏（秋田）
青森	柴山猛夫（千葉）	千葉	中山治躬（千葉）
青森	白戸正（青森）	黒澤尻	根本祐美（埼玉）
鶴城	神向寺敬之助（宮城）	金澤第一	能村甫（石川）
		弘前	花田勇造（青森）
		弘前	丸山明男（青森）
		川越	松岡德治（埼玉）
		白石	宮城四郎（宮城）
		北海	山崎正志（北海道）
		修猷館	彌吉昌夫（福岡）
		山形	吉池太郎（山形）
		身延	米長榮次（山梨）
		古川	和野卓海（宮城）

二、生徒、入學志願者、入學者、及卒業者學科別表

生徒		第一學年第二學年第三學年	計	入學志願者	入學者	卒業者
文	甲類	八〇	七二	二二四	五一九	八六	六九
	乙類	四〇	三五	三六	一一一	一四六	二〇	三一

科	丙類	計	理科 甲類	乙類	丙類	計	合計
	—	一二〇	四〇	四〇	—	八〇	二〇〇
	—	一〇七 獨一	四〇	三九	—	七九	一八六 獨一
	—	一〇八	四三	三五	—	七八	一八六
	—	三三五 獨一	一二三	一一四	—	二三七	五七二 獨一
	—	六六五	二五六	三九九	—	六五五	一、三二〇
	—	一〇六	二七	四二	—	六九	一七五
	—	一〇〇	三一	三三	—	六四	一六四

備考

本表中「獨」トアルハ獨語ヲ受驗外國語トシテ入學シタル在籍生徒ニシテ內數ヲ示ス

三、生徒本籍別表

科學年別 / 府縣別	文科 第三學年	文科 第二學年	文科 第一學年	文科 計	理科 第三學年	理科 第二學年	理科 第一學年	理科 計	合計
北海道	五	七	三	一五	九	四	三	一六	三一
青森	二〇	二五	二〇	六五	一六	一六	二九	六一	一二六
岩手	五	四	八	一七		六	八	一四	三一
宮城	三	三	五	一一	五	六	五	一六	二七
秋田	一一	四	一一	二六	五	五	四	一四	四〇
山形	四	二	一	七	一		二	三	一〇
福島	七	三	九	一九	三	二	三	八	二七
茨城	二		五	七	四	五	一	一〇	一七
栃木	六	三	五	一四	四	二		六	二〇
群馬	二	三	一	六	一	二		三	九

埼玉	一	一	三	五	二	一	二	五	一〇
千葉	一	五	四	一〇	四	二	五	一一	二一
東京	一〇	一〇	九	二九	四	五	二	一一	四〇
神奈川	二	一	一	四	一	一	一	三	七
新潟	三	四	四	一一	三	三	二	八	一九
富山		二	一	三	一			一	四
石川	一	一	一	三			二	二	五
福井		一		一			一	一	二
山梨	一	二	二	五		五	一	六	一一
長野	四	三	二	九	一	三		四	一三
岐阜		一	一	二		一	一	二	四
静岡	三		一	四	一	一		二	六

愛知		三	二	五		一		一	六
三重		二	一	三	二	一		三	六
滋賀	二	二		四	一			一	五
京都	四	二		六	一		一	二	八
大阪	一	一	三	五	一	一	一	三	八
兵庫	一		二	三	一		一	二	五
奈良			二	二		一		一	三
和歌山	一	一	二	四	一			一	五
鳥取			一	一	一	一	一	三	四
島根		一	二	三					三
岡山			一	一					一
廣島	二	二		四	一	一		二	六

山口	一	一		二			一	一	三
德島	一	二		三		一		一	四
愛媛	一			一			一	一	二
高知			一	一					一
福岡	一	一		二	二		一	三	五
佐賀	一	一	一	三		一		一	四
長崎		一		一					一
熊本	一	一		二					二
大分			二	二	二			二	四
鹿兒島			三	三		一	一	二	五
朝鮮		一		一					一
總計	一〇八	一〇七	一二〇	三三五	七八	七九	八〇	二三七	五七二

四、入學志願者及入學者學歷別表

種別		中學校四年修了者 本年	中學校四年修了者 前年以前	中學校四年修了者 計	中學校 本年	中學校 前年	中學校 二年以前	中學校 三年以前	中學校 四年以前
文科	志願者	一七四	二六	二〇〇	一九三	一一四	六三	二四	八
	入學者	二五	一	二六	三四	二九	八	四	｜
理科	志願者	一六〇	二三	一八三	一八四	一三七	六三	四二	七
	入學者	一四	｜	一四	二三	一八	六	六	一
合計	志願者	三三四	四九	三八三	三七七	二五一	一二六	六六	一五
	入學者	三九	一	四〇	五七	四七	一四	一〇	一
同上	百分比	一一、六五	二、〇四	一〇、四四	一五、一二	一八、七三	一一、一一	一五、一五	六、六七

卒業者													
五年以前	一	一	一	三	一	四	一	二五、〇〇					
六年以前	二	一	一	四	二	一	一						
七年以前	一六	一	一	六	一	一	一						
八年以前	一一	一	一	一三	一	一	一						
計	四〇四	七六	四三九	五四	八四三	一三〇	一五、四二						
本年	二〇一六	二	一	七	一	二三	二	八、七〇					
實業學校卒業	前年	一九	一	六	一	二五	一	四、〇〇					
二年以前	一五	一	一	三	一	八	一						
三年以前	四	一	一	二	一	六	一	一六、六七					
四年以前	三	一	一	二	一	五	一	二〇、〇〇					
五年以前	一	一	一	一	一	一	一						
六年以前	二	一	一	一	一	三	一						

者	七年以前	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	計	四九	四	二三	一	七二	五	六、九四					
專檢高試合格者		一	一	一	一	一	一						
高校資試合格者		四	一	二	一	六	一						
總計		六五七	一〇六	六四八	六九	一、三〇五	一七五	一三、四一					

備考

朝鮮人志願者

文 五

理 五

臺灣人志願者

文 三

理 二

本表ニ算入セス

五、生徒及入學者、卒業者年齡別表

種別		最高年齡			最低年齡			平均年齡		
		文科	理科	科	文科	理科	科	文科	理科	科
生徒	第一學年	二四、〇二	二二、〇六		一六、〇三	一六、〇二		一八、〇九	一八、〇八	
	第二學年	二八、〇六	二三、〇三		一七、〇三	一七、〇三		二〇、〇二	二〇、〇三	
	第三學年	二九、〇四	二八、〇一		一八、〇三	一八、〇二		二一、〇四	二一、〇三	
入學者		二二、〇二	二二、〇六		一六、〇三	一六、〇二		一八、〇五	一八、〇六	
卒業者		二八、〇三	二八、〇四		一九、〇二	一九、〇二		二一、〇九	二一、一一	

六、生徒本年卒業ノ狀況

種別		文科卒業者			理科卒業者			合計
		甲類	乙類	計	甲類	乙類	計	
東京帝國大學法學部		一二		一二				一二
同	文學部	八	四	一二				一二
同	經濟學部	一四	五	一九				一九
同	醫學部							
同	工學部							
京都帝國大學法學部		八	八	一六				一六
同	文學部	五	三	八				八
同	經濟學部	四	三	七				七
同	醫學部							
同	理學部							
東北帝國大學	法文學部	九	一	一〇				一〇
同	醫學部							
仝	工學部							

同	理學部										
九州帝國大學醫學部											
神戸商科大學		二	二								
東京工業大學											
新潟醫科大學											
千葉醫科大學											
岡山醫科大學											
金澤醫科大學											
日本醫科大學											
明年大學入學志望ニテ自修者	一〇	五	一五	九	一四	二三	三八				
計	六九	三一	一〇〇	三一	三三	六四	一六四				

七、卒業生氏名

（氏名ノ上段ハ在籍學部略稱、法、文、工等ハ學士ノ略稱、下段ハ本籍府縣名、氏名上ノ●ハ死亡）

（五十音順）

第一回（大正十三年三月）卒業（百三十六名）

文科甲類（六十五名）

法	淺野宏（茨城）	法	伊藤昇弼（青森）	法	大里國孝（東京）
法	秋林正次郎（秋田）	文	石田雄一（新潟）	經	岡本巖（岐阜）
法	相內禎介（青森）	經	伊藤聰（岩手）	法	奥田貞夫（北海道）
法	淺井勝彥（埼玉）	法	江川四郎（北海道）	法	加藤秀男（東京）
經	伊藤義（福岡）	法	宇佐美教（山形）	文、東法	加藤虎太（山形）
文	伊藤泰司（千葉）	經	太田熙（北海道）	文	河崎長（京都）
文	石神正（北海道）	經	小川八郎（千葉）	文	金子直衛（長野）
文	池田健三（青森）	經	小木孝次（石川）	●	河村義光（山口）

経　鹿野　醇（宮城）
文　勝山　數麿（福井）
経　齋藤　進次（東京）
経　佐藤　三朔（群馬）
文　志田　不動麿（北海道）
法　白井　八洲雄（福岡）
経　島津　政雄（山形）
法　清水　滋（福井）
法　鈴木　英一郎（愛知）
文　舘山　一（青森）
経　高橋　英夫（青森）
経　竹内　平藏（秋田）
法、京経　津末　健兒（福岡）

●

法　戸崎　友則（秋田）
経　夏堀　正三（青森）
経　中村　吉良（山形）
文　奈良　太二郎（青森）
法　西部　是正（北海道）
法　野松　茂（富山）
経　長谷川　豊（青森）
経　荻野　剛一（和歌山）
文、京法　林　亮天（長野）
法　平山　寅次郎（秋田）
経　堀田　小三郎（愛知）
法　北條　新次郎（兵庫）
経　松村　村松（埼玉）

法　松原　晉郎（北海道）
経　三代川　秀夫（千葉）
経　水野　直澄（熊本）
文　宮川　善造（青森）
法　村上　虎雄（秋田）
法　山田　秋義（和歌山）
経　山下　竹藏（青森）
醫　山本　一郎（北海道）
法　米山　節三（静岡）
醫　吉田　末五郎改名　智恩（青森）
経　吉岡　圭治（埼玉）
経　森　維嘉（福島）
経　和賀　賢治郎（秋田）

経　若城　隆一（青森）

文科乙類（二十九名）

法　秋田　達（茨城）
法　石川　寅三郎（秋田）
法　内野　仙一郎（東京）
法　大鐵　正義（福島）
経　大栗　明（栃木）
法　小山内　信一（青森）
法　小瀧　民之丞（栃木）
法　澤井　賢太郎（富山）
醫　齋藤　出羽（栃木）
文　河井改メ　關　公平（東京）

法　水津　征一（島根）
法　田島　庫治（愛知）
文　高久　勇（福島）
法　高野　登美雄（北海道）
経　田村　俊雄（山形）
文　成田　昌信（青森）
法　中村　英夫（山形）
法　根本　辰（宮城）
醫　兵藤　孝（茨城）
経　福井　元之輔（青森）

理科甲類（二十二名）

法　松村　重次（熊本）
法　三橋　又一（青森）
文　皆川　英夫（北道道）
経　三木　列次郎（兵庫）
経　雨角　一夫（長野）
法　柳川　眞文（東京）
法　柳澤　吉太郎（秋田）
法　横山　一郎（東京）
醫　渡部　亘（福島）

泉山　新助（青森）　理
伊藤得二郎（東京）　工
井坂　清（東京）　醫
江渡龍彌（青森）　農
小野孝一（青森）　醫
大林一三（東京）　農
貝原　榮（青森）　農
柿沼哲治（東京）　工
樫尾直次郎（秋田）　醫

理科乙類（二十名）

氏家時臣（宮城）　醫
勝間田耕秋（靜岡）　醫
春日井英夫（青森）　農
瀧澤英司（栃木）　醫
高谷鴻一（北海道）　東醫
田中豊（北海道）　醫

第二回（大正十四年三月）卒業（百八十四名）

文科甲類（七十四名）

網中勉（大分）　經
安藤信一（北海道）　法
飯田保吉（愛知）　經
井出正泰（長野）　文
伊藤徳三（北海道）　經
井上武（千葉）　經
梅岡伊佐夫（千葉）　經
及川健助（岩手）　文

加藤一男（秋田）　理
川島三四郎（東京）　工
河合忠義（岡山）　醫
岸德次（神奈川）　農
北川龍藏（富山）　東醫
小泉一郎（岩手）　理
小沼信夫（北海道）　農
阪本昇（福岡）　工

小林幸太郎（三重）　醫
嘉ノ海武夫（兵庫）　醫
久保出榮（青森）　農
齋藤義雄（青森）　東醫
齋藤吉雄（青森）　醫
佐藤律五郎（青森）　農
神西村英一（青森）　醫
齋藤馨（青森）　理
田島竹介（愛知）　理
中村豊彌（青森）　醫
平山清一（千葉）　農
嶺脇五郎（秋田）　東醫
幸田惣助（青森）　理

原義男（埼玉）　醫
松木明（青森）　文
三上金三郎（青森）　醫

矢吹四郎（福島）　醫
横岡雅雄（青森）　文
本田高東（東京）　文
古屋武（山形）　文
渡邊高（山形）　文
唐木岩雄（靜岡）　經
唐牛惣三郎（青森）　●
川崎寅造（高知）　法
木村干城（京都）　●
清瀧幸次郎（大阪）　經
工藤友三郎（青森）　工
工藤次郎（青森）　經
工藤秀雄（山形）　工
落合勇（茨城）　法、京文
小野久三（青森）　文
川口時彰（宮崎）　法

経　窪田不二夫（山梨）
経　熊谷信二（埼玉）
経　栗原繁樹（夢機）
文　齋藤勝次郎（青森）
経　佐藤一平（愛知）
●　佐藤一雄（三重）
法　佐藤久一（青森）
経　佐藤武夫（福島）
文　佐藤昌樹（東京）
法　芝田倭文夫（三重）
文　柴田宣勝（秋田）
経　柴屋亮之助（東京）
法　菅井習（茨城）

経　菅井陽（茨城）
東北法文　菅谷知己（大阪）
経　清藤一郎（青森）
法　善當一三（千葉）
経　副島種（東京）
法　高橋司三治（青森）
法　高橋半三（東京）
法　高山虎雄（山梨）
経　辰巳好弘（奈良）
経　田村愛吉（青森）
京経　津田清太郎（青森）
法　豊田眞次郎（大阪）
経　若林俊治（秋田）

経　中田篤美（青森）
経　南野勝一（山口）
経　林昌也（東京）
法　林光雄（福井）
京経　針生寅次郎（宮城）
法　日高輝（東京）
経　平山清二郎（宮崎）
法　福田祐一（東京）
経　福中次郎（兵庫）
法　古屋久雄（山梨）
文　本田高康（東京）
法　牧山雅彌（東京）
法　松野孝一（秋田）

法　髙田五郎（秋田）
法　三須宗太郎（滋賀）
●　氷野揚造（岐阜）
経　目賀田康（東京）

文科乙類（三十二名）

経　青木清一郎（埼玉）
法　阿部伴七（廣島）
東経　飯泉三郎（神奈川）
文　伊藤六十次郎（青森）
経　井上茂敏（神奈川）
文　伊吹山太郎（東京）
法　今岡威暦（青森）
法　岩井清治（兵庫）

経　山崎治雄（群馬）
文　山内豊榮（愛媛）
京文　若城久治郎（青森）
経　若林俊治（秋田）

東文　高橋重五郎（青森）
法　加藤正一（秋田）
法　加藤庄市（廣島）
法　金田重雄（鳥取）
慈恵大医　神部勝之助（京都）
法　木村義雄（東京）
経　佐々木一二（秋田）
医　笹森義郎（青森）
法　髙島効（東京）

法、京文　鷲岳解雄（青森）
法　渡邊孝一（愛媛）

書　田島十郎（長野）
法　田中佳一（山口）
法　田端虎雄（埼玉）
法　寺岡健次郎（山形）
法　飛島定城（青森）
文　豊田保（鳥取）
文　中泉哲俊（秋田）

經	中尾通（宮崎）	法	西脇親（東京）	●	森嘉雄（兵庫）
經	中村博吉（山口）	經	原田正司（島田改）（青森）	法	山本研治（兵庫）
法	西村貞一（長野）	經	松生幸雄（熊本）		

理科甲類（三十六名）

京工	秋元信一（北海道）	●	久保田千秋（青森）	工	塚本梅雄（熊本）
農	新谷虎之助（福井）	工	今晃一（青森）	東工	長倉義夫（靜岡）
工	有泉二郎（東京）	工	櫚山一郎（岩手）	理	中村潔（神奈川）
醫	伊藤雄次（山形）	理	島田正徽（高知）	千葉醫	中村男三（和歌山）
農	上田朝夫（兵庫）	醫	下川精末（森尾改）（北海道）	東北工	芳賀秀雄（青森）
醫	內山繁一（青森）	農	高鹽朝治（北海道）	醫	橋本三太郎（北海道）
●	內澤政勝（岩手）	醫	高橋敏夫（茨城）	醫	馬場正隆（青森）
醫	織田信也（秋田）	文	舘岡俊之助（秋田）	農	羽太章（栃木）
醫	上山巖（東京）	農	立花文一（岩手）	醫	星野一郎（群馬）

農	松田季五郎（東京）	東工	矢田昌四郎（青森）	農	山本太三郎（青森）
醫	三浦敏郎（青森）	工	柳田達三郎（北海道）	農	山谷潤惠（青森）
●	三谷重文（東京）	東農	山縣孝一（秋田）	工	渡邊茂（東京）

理科乙類（四十二名）

醫	赤阪貞助（青森）	東北醫	金子武雄（群馬）	醫	齋藤秀世（青森）
醫	秋元庸夫（青森）	醫	金田文平（栃木）	醫	佐藤進六（香川）
醫	阿部辰夫（青森）	醫	菊池紫朗（青森）	醫	白井勇（千葉）
醫	越後屋新藏（秋田）	醫	北村雄次郎（青森）	醫	杉山一郎（秋田）
醫	井深圭太郎（青森）	醫	木村三樹男（岩手）	醫	鈴木政治（青森）
醫	大橋三治（愛知）	醫	楠謙次（富山）	醫	鈴木直（加鹽改）（新潟）
醫	小野崎宣助（秋田）	醫	工藤正四郎（青森）	醫	壽山三郎（愛知）
醫	加古御蓋（東京）	醫	久保田牧郎（青森）	工	瀨川安一郎（岩手）
醫	葛西清（青森）	農	小泉靜雄（山梨）	醫	關安太郎（渡邊改）（靜岡）

醫	高松　雄（秋田）	金醫	中谷　定義（青森）
醫	高山　武士（山梨）	醫	中谷　律郎（青森）
醫	竹谷　禮司（青森）	農	新田瑛一郎（山梨）
醫	田村　三夫（和歌山）	東北工	平賀　廣一（岩手）
醫	足澤三之介（岩手）	● 醫	藤岡　晋（岡山）

第三一回（大正十五年三月）卒業（百四十五名）

文科甲類（六十二名）

經	淺井　信通（石川）	經	小川利兵衛（栗原改愛媛）
法	宍水　顯一（青森）	經	奥村　兵一（青森）
經	阿部　政行（山形）	京經	大信田榮助（岩手）
法	磯野　浩（宮城）	法	岡田　馨志（宮城）
經	泉　廣（青森）	東法文	奥山　隆（静岡）
法	大石　義雄（山形）	東北法文	柏山　恒雄（宮城）
醫	藤林　道三（新潟）	經	神田三子男（山梨）
醫	前原　勝樹（群馬）	文	河田　茂治（秋田）
醫	丸山龜久治（青森）	經	菊池　良輝（福島）
醫	森　喬（東京馬淵改）	法	北野　治（滋賀）
醫	吉安　修（東京）	經	喜多村隆重（京都）
		法	工藤又三郎（青森）

經	齋藤次郎（東京）	法	長谷川　宏（秋田）
法	齋藤忠雄（北海道）	東北法文	林　捷三（廣島）
	笹森猛正（青森）	東法	福士敏光（青森）
文	宍戸教之（山形）	文	福田良輔（福岡）
經	島田雷三（熊本）	經	細井　惊（青森）
九州法文	神　純一（青森）	經	蒔苗唯儀（青森）
東北法文	鈴木　玄（青森）	經	牧田忠夫（岩手）
東北法文	鈴木隆夫（宮城）	京法	松岡知祐（香川）
東經	關口猛夫（長野）	法	松木　浩（青森）
東經	多賀義一郎（宮城）	經	松本　博（廣島）
東經	土田榮一（東京）	法	丸山博司（三重）
文	中根忠克（青森）	法	峰尾勝治（神奈川）
東經	中島　忠（德島）	法	宮代　徹（新潟）
經	宮本貞樹（長野）	東北法文	村上　武（山形）
法	村山最甫（岐阜）	東法	望月福三郎（神奈川）
東北法文	森島翁輝（栃木）	經	安田三千雄（青森）
經	梁田邦治（兵庫）	文	山口幸之助（神奈川）
● 醫	山根史郎（鳥取）	東北法文	山本嘉盛（北海道）
文	横江勝美（東京）	東經	横山文雄（青森）
京經	米澤正雄（德島）		

法 若林尚義（秋田）
經 脇本忠信（廣島）

文科乙類（二十八名）

經 石河四郎（秋田）
經 磯部理輔（神奈川）
東文 伊藤虎雄（福島）
法 伊吹俊夫（滋賀）
經 石川初樹（兵庫）（船見改）
經 内田榮藏（神奈川）
法 宇野茂夫（徳島）
經 筧旭（東京）
經 神野正勝（愛知）
經 嘉屋正美（山口）

法 渡邊脩（愛知）
慈惠醫 渡邊猛（福島）
法 倉重高明（山口）
東文 小林篤（埼玉）
經 光野斐哉（奈良）
經 今野次郎二（福島）
經 齋藤俊章（山梨）
經 進藤孝三（東京）
法 田中金司（青森）
文 田中小一郎（青森）
法 田中隆規（山口）
法 月館順之助（青森）

法 渡瀬昌勝（東京）
京經 對馬英一（北海道）
東法 殿村一郎（秋田）
東北法文 畠中精七（山形）
經 濱田勝己（愛媛）
京文 原彪（茨城）
法 牧野芳夫（新潟）
經 宮崎武夫（大阪）
法 森正之助（大阪）

理科甲類（三十名）

理 飯坂五郎（秋田）
工 石部功（福島）
千葉醫 泉川民治（秋田）
東北醫 臼田岩太郎（長野）
理 小笠原美津雄（青森）
新醫 小原富雄（岩手）
新醫 片桐保（北海道）
工 加畑信一（北海道）
東農 唐澤威夫（長野）
東北法文 佐々木三十郎（宮城）

理科乙類（二十五名）

千葉醫 犬飼正（長野）
新醫 奥田千秋（和歌山）

佐々木進（秋田）
農 佐藤一郎（青森）
佐藤誠一（神奈川）
新醫 佐藤雄三（山形）
工 柴田文三（青森）
工 鈴木鐵雄（東京）
滿州醫 高木恭造（青森）
京工 武田平七（青森）
工 沼形虎夫（北海道）
九醫 橋本泰（三重）

京理 長谷川清吾（栃木）
工 馬場狂介（青森）
農 彦井彦左衛門（北海道）
工 松本正男（青森）
工 三橋宏平（青森）
新醫 宮川二郎（青森）
新醫 柳田武夫（茨城）
工 山西輝雄（新潟）
理 山本時男（秋田）
吉崎祐一（青森）
千葉醫 長内健三（青森）

千葉醫　小野軍三（青森）
東北醫　大野盛三（栃木）
九醫　金山傳次（富山）
京理　川邊謙造（秋田）
東北醫　久米孝壽（茨城）
金醫　小林勇（三重）
新醫　小泉五郎（秋田）
東北醫　佐藤亮（福島）

第四回（昭和二年三月）卒業（百七十九名）

文科甲類（七十八名）

安保廣一（秋田）
明石洋之助（秋田）
淺川英一（神奈川）
武山賢一（北海道）
多田五郎（東京）
丹野四郎治（宮城）
椿英一（千葉）
筒井榮（福島）
德谷武夫（島根）
中西榮（青森）
原治五郎（茨城）
針谷順（茨城）
平田勝男（青森）
望月和三郎（群馬）
桃井俊德（山梨）
湯本義家（山梨）
渡邊辰夫（宮城）
石非直信（東京）
石鄭岡猛（青森）
市村登治郎（茨城）

東經　淺野武（茨城）
東法　雨宮忠治（山梨）
東文　井口世雄（滋賀）
東北醫
長崎醫
東北醫
東北醫
東法文
京經
東北法文

東法　伊藤勝（神奈川）
東北法文　井上文武（富山）
京經　飯山清（神奈川）
東北法文　池田千秋（栃木）
京法　伊藤昇司（愛知）
東經　宇佐美宏（山形）
京法　宇都宮孝（愛媛）
京經　江守武雄（東京）
京法　大野秀夫（北海道）
東文　岡本成雄（青森）
東北法文　小田貫一（山形）
京文　大郷一雄（青森）
東文　加瀨喜一郎（千葉）
京經　川合光雄（岐阜）
東經　川岸功（青森）
京法　菊池武夫（新潟）
東經　日下英雄（福島）
東經　黒須武臣（東京）
東經　今野源八郎（福島）
東文　小和田武紀（青森）
東北法文　上郎泰（神奈川）
京法　齋藤勝雄（青森）
京法　阪口義一（大阪）
京法　坂梨仁（福岡）
東經　佐々木唯遵（茨城）
京法　齋藤富士太郎（岡山）
京經　阪本進（神奈川）
東文　島田道男（秋田）
東法　清水昌辰（秋田）
京法　白石和夫（福島）
京經　鹽澤高恒（山形）
東北法文　鈴木新納（山形）
京經　須藤進（福島）
東法　關潔（秋田）
九州法文　副島保雄（北海道）
東文　高橋平作（栃木）
京法　田中芳昌（京都）
東文　種村純二（三重）
京法　田村順三郎（新潟）

東文　田村文雄（青森）
京法　田中一郎（鹿児島）
京経　高野徳二郎（宮城）
東北法文　長瀬次郎（秋田）
京法　中谷謙二（東京）
京法　西原常男（佐賀）
東文　阪尚敏（岐阜）
東文　橋本勝三（新潟）
東経　長谷川進（青森）
京経　林田和男（福岡）

文科乙類（三十五名）

東文　阿形龍彰（静岡）
東経　浅田國太郎（神奈川）
東経　久恒自由（大分）
京文　平間荘次（京都）
東経　平山甫樹（埼玉）
東文　藤野敬止（青森）
東経　布施清三郎（宮城）
京法　船越博（青森）
九州法文　堀内雄四郎（長野）
京法　本間有三（山形）
東経　松本駿（千葉）
東北法文　三宅多大（東京）
京経　飯島勝利（東京）
京法　竹内日英（富山）
東文　田中清玄（北海道）
東経　塚本祐太郎（静岡）
東経　寺田大次郎（茨城）
東法　門叶宗雄（秋田）
東文　富永孝一郎（新潟）
東経　友成誠（大分）
東法　浪岡眞一（青森）
京法　原博義（東京）
東北法文　日野勝次郎（宮城）

理科甲類（二十八名）

東経　松倉英一（富山）
京法　松本幸三郎（兵庫）
京法　満野廣（愛媛）
東法　水野岩雄（千葉）
東文　水戸秀郎（福島）
京法　宮内菅一郎（愛媛）
京法　宮崎守一（東京）
京法　矢尾板羊三郎（北海道）
京法　横川紀良（群馬）
京法　稲井稔（鳥取）
京経　井上正之（東京）
東法　岡市正大（大阪）
東法　岡本賢三郎（青森）
京法　大原豊（秋田）
東文　大野三右衛門（福島）
京法　數井一雄（北海道）
京法　木村俊象（宮城）
京法　呉藤恒（石川）
東文　進藤正勝（青森）
東農　阿曾村千春（秋田）
新聞　石田捷午（秋田）
東経　久恒自由（大分）
京法　平間荘次（京都）
東経　平山甫樹（埼玉）
東文　藤野敬止（青森）
東経　布施清三郎（宮城）
京法　船越博（青森）
九州法文　堀内雄四郎（長野）
京法　本間有三（山形）
東経　松本駿（千葉）
東北法文　三宅多大（東京）
京経　飯島勝利（東京）
東北法文　石田弘（愛知）
東北法文　泉谷清一（青森）
京法　宮本章藏（青森）
京法　皆川健夫（山梨）
京法　村井盛（青森）
東文　山口壽（青森）
京経　山口孝三（東京）
京法　山下又三郎（秋田）
京法　山田孝之肋（長崎）
京法　山本正之（福島）
東文　和田辰夫（東京）
京経　渡邊善次郎（三重）
千葉醫　岩淵武夫（宮城）
東理　越川幸吉（三重）
金醫　岩崎武夫（新潟）
東北醫　石橋健夫（福島）

新醫　大江乙彦（山形）
東北工　大坪龍夫（滋賀）
京理　大森眞直（東京）
東工　加藤春海（福島）
東北工　菊池省吾（栃木）
長崎醫　北島廣太郎（秋田）
東醫　工藤永藏（青森）
東工　工藤幸助（秋田）

理科乙類（三十八名）

千葉醫　會澤公惠（茨城）
東農　青木克（茨城）
熱田基（千葉）
阿部武四郎（秋田）
東北工　小松止（福岡）
東工　佐野次夫（靜岡）
東北醫　鹽澤修一（群馬）
東農　進藤正利（青森）
東北理　島崎光一（北海道）
曾我部憲二（兵庫）
東北醫　谷久（福島）
新醫　坪田繁樹（青森）
東北理　東條六郎（福島）
東北工　中村清七（栃木）
東農　仁田原耕三（東京）
東農　根本七郎（福島）
東北理　增田治雄（德島）
京理　森提平（靜岡）
千葉醫　砂金肇（青森）
京城醫　井澤豐三郎（山形）
稻見健一（茨城）
企醫　内田救（茨城）
東北理　大泉重一（宮城）
長崎醫　太田泉（埼玉）
東北理　金塚文哉（茨城）
京農　神谷桂一（北海道）

京理　木村勇一（青森）
東北醫　木村（舘山改メ）角五郎（青森）
木村義雄（青森）
千葉醫　近藤勉三（東京）
東北醫　佐々木武昌（東京）
佐藤喜一郎（青森）
東醫　下澤剛（青森）
東北法文　武田幾之助（秋田）
千葉醫　土谷忠夫（東京）
照井三郎（秋田）
新醫　富塚松五郎（宮城）
東北醫　鳥海順彌（山形）
東北醫　永澤正三郎（青森）
千葉醫　仲野信司（山形）
東北醫　中村茂一（新潟）
東北醫　乘田正清（青森）
東北工　平野昇（東京）
東北醫　藤非敬三（岩手）
洞口博武（宮城）
千葉醫　松葉巖（茨城）
京經　松本五郎（廣島）
東北醫　安田久（北海道）
安田豐（東京）
東北醫　谷地田勝治（北海道）
山本義一（秋田）
新醫　吉田陽作（新潟）

第五回（昭和三年三月）卒業（百七十一名）

文科甲類（七十七名）

東文　赤川孝一（岩手）
東文　赤澤正孝（香川）
東文　飯坂英孔（青森）
京法　池田保生（東京）
京法　石川茂（山形）
東北法文　石川史郎（秋田）

東文　市村友雄（栃木）
東北法文　今井文雄（宮城）
東経　岩越忠恕（鳥取）
東文　岩澤清三郎（青森）
東北法文　岩淵剛彦（岩手）
京法　臼田徳樹（長野）
京経　漆野壽一（茨城）
東経　遠藤晴夫（秋田）
九、法文　大久保政夫（青森）
東北法文　小野木勝之（東京）
東北法文　小川浩（山形）
東北法文　小竹俊夫（北海道）
東経　影山桓虎（栃木）

東北法文　菊池京平（宮城）
東北法文　京道信一（宮城）
東文　黒川信雄（山形）
東北法文　楠美省吾（青森）
京法　小泉多喜男（岩手）
東北法文　越村安太郎（北海道）
東北法文　小島幸彰（埼玉）
東北法文　齋藤敏彦（岐阜）
東法　西城一男（岩手）
東経　佐々木毅（東京）
京経　佐々木三九馬（青森）
東文　佐瀬順夫（北海道）
京文　佐藤岩之進（青森）

京法　佐藤勇（群馬）
東北法文　鎮目信三郎（神奈川）
東文　芝野朝彦（和歌山）
澁谷忠太郎（熊本）
東北工　清水久（東京）
京経　清水義幸（三重）
京法　城徳次郎（北海道）
京法　鈴木辰夫（静岡）
東経　鈴木孝（栃木）
東経　清野剛（宮城）
京法　仙當薫明（高知）
京経　高木武久（熊本）
京法　高橋精（北海道）

東経　高橋長藏（秋田）
東経　高橋高三（茨城）
京法　種田公夫（東京）
東北法文　田村光雄（岩手）
東北法文　田山利兵衛（千葉）
東経　塚本廣（福井）
東法　苫米地重男（青森）
東文　中里玲（東京）
京法　並木健（東京）
京文　成田勝太郎（北海道）
東北法文　新堀宗一（茨城）

東経　新堀直（茨城）
東経　西富貴雄（熊本）
京文　原子卓爾（青森）
東文　林進（愛知）
京文　反保光一（北海道）
東法文　日野培樹（東京）
東北法文　平野啓之（千葉）
東法　藤井健次郎（青森）
東経　福島昇（神奈川）
京法　福本英三郎（神奈川）
東北法文　古木三郎（神奈川）

文科乙類（三十二名）

京法　安宅敏郎（秋田）
京法　阿部早苗（岩手）

東文　松浦英文（茨城）
京法　松本武男（北海道）
東北法文　丸茂督（鳥取）
京法　三木幸雄（兵庫）
東北法文　三宅稔（山形）
東北法文　宮澤俊男（宮城）
東経　森島博愛（栃木）
京法　柳瀬大三（山形）
東北法文　横山信一（静岡）
京法　吉田道二郎（三重）
東法　越前儀一（秋田）

京法　飯野志郎（栃木）
東北法文　飯淵信夫（宮城）
京法　氏家文一郎（京城）
九州法文　尾坂俊夫（青森）
東経　鴨田宗一（埼玉）
京法　楠美隆之進（青森）
東経　小林淳（秋田）
京法　小林誠之（長野）
東北法文　佐々木武平（青森）
東農　佐藤久藤（宮城）

理科甲類（三十二名）

青木卓逸（栃木）
明本敬成（岡山）
京経　鈴木道三郎（宮城）
京法　瀬川浩（岩手）
京文　關根敏（栃木）
東北法文　高橋祐治（福島）
京法　谷口静男（三重）
京法　千葉辰蔵（北海道）
東法　内藤由巳（福島）
京法　西岡博（広島）
京法　西澤樵夫（青森）
東経　西脇勇（東京）
東北工　麻井三郎（鳥取）
伊藤誠爾（岐阜）
九州法文　橋本俊彦（福井）
京法　松波港三郎（大阪）
京法　増田虎正郎（兵庫）
京経　三上賢吉（岩手）
京法　村田保（北海道）
京法　茂木隆之助（秋田）
京法　森信太郎（宮城）
京法　山田正（愛知）
和田秀吉（青森）
京工　井上友喜（秋田）
東北工　今村秀次郎（青森）

東工　大石琢平（東京）
京醫　大塚一三（青森）
東工　大野信一（東京）
東北理　小山内晟三（青森）
東工　小島義正（神奈川）
東工　長利仲清（青森）
東北醫　片岡直人（北海道）
東北醫　五十嵐改金田正身（秋田）
萱田静海（千葉）

理科乙類（三十名）

東農　伊藤三郎（北海道）
北大農　岩間龜三郎（宮城）
東北醫　大澤忠弘（青森）
東北工　古木改久保田武雄（北海道）
新醫　佐藤一男（栃木）
新醫　佐藤又三郎（青森）
東北醫　三條國藏（宮城）
東北工　四方侃一（京都）
東北工　高坂清衛（青森）
東京農　田上眞名（廣島）
新醫　高橋正光（福島）
東北醫　高瀬信之（栃木）
東北工　長澤隆次（青森）
東北工　奈良正庸（青森）
鳴海岩雄（青森）
京工　南部二郎（富山）
東農　濱崎信太郎（東京）
東北工　藤澤鐵男（宮城）
京農　松崎龍治（千葉）
京農　安田動（東京）
葛原信一（青森）
新醫　玏刀孝（山梨）
新醫　小松丙三（北海道）

東北法文 後藤善治石工門（岩手）
千葉醫 齋藤 壽（千葉）
東北醫 佐藤 榮（宮城）
新醫 佐野 玫明（新潟）
金醫 三川 六郎（秋田）
千葉醫 關川 安正（千葉）
千葉醫 田村 利男（千葉）

第六回（昭和四年三月）卒業（百六十九名）

東北法文 淺野 豊秀（新潟）
東法 荒木 久彌（群馬）
京文 伊藤 勝雄（秋田）
東法 内山 武兵衛（北海道）

文科甲類（六十四名）

東法 粳間 清策（東京）
東文 海老名 正吾（青森）
東經 大島 政夫（北海道）
東北法文 大塚 美知雄（北海道）

金醫 千葉 將喜（岩手）
千葉醫 千葉 保之（宮城）
千葉醫 永井 澄（東京）
千葉醫 仁尾 正忠（高知）
東醫 長谷川 八郎（青森）
新醫 濱崎 光平（福島）

東北法文 太田 稔（東京）
京經 岡田 昇（福島）
京法 岡野 多喜夫（青森）
東法 小田切 潔（青森）

千葉醫 菱刈 隆教（東京）
金醫 前田 幹（青森）
九醫 政野 昇（福井）
東北醫 三浦 修（青森）
東北醫 三浦 恤（宮城）
千葉醫 武者 宏作（宮城）

京法 小田島 敏男（岩手）
東法 小原 照一（岐阜）
東經 小原 洋（岩手）
京文 小野 隆祥（青森）
京經 大西 直樹（石川）
東經 川崎 邦夫（青森）
東北法文 清見 重次（富山）
東經 工藤 金章（青森）
東法 工藤 九郎（青森）
京法 日下部 軍治（北海道）
東經 小林 三郎（東京）
東經 子安 武雄（千葉）
近藤 重三郎（岩手）

生徒及卒業生

東經 阪口 俊次（埼玉）
齋藤 壬夫（栃木）
東文 齋藤 武博（青森）
東法 佐藤 一夫（青森）
東文 佐藤 俊雄（青森）
東文 佐々木 亨（秋田）
東北法文 阪田 貞俊（東京）
東北法文 更科 正夫（福島）
東北法文 重倉 琨祐（長野）
東文 白取 貞次郎（青森）
東經 七戸 四郎（青森）
東北法文 神 師（青森）
東法 鈴木 輝久（茨城）

東北法文 菅原 民夫（山形）
東經 關 徹（和歌山）
東法 高木 喜一（三重）
東文 高木 直四郎（青森）
東法 高野 一郎（東京）
東法 高野 道長（群馬）
高瀬 侍郎（群馬）
京經 高谷 愛二郎（秋田）
高谷 剛之助（青森）
田中 巖（青森）
京法 田中 好直（和歌山）
京法 田中 四郎（和歌山）
鈴木 龍三（千葉）

中村榮次（長野）　東經　平岡敏雄（北海道）
成田榮固（東京）　京文　細野哲夫（新潟）
行方薫（青森）　京法　細野昌夫（新潟）
服部泰雄（山形）　東文　前川禮敏（石川）
荻庭龜一郎（茨城）　東經　松尾政喜（青森）
林薫（福島）　京經　松澤良二（新潟）

文科乙類（三十一名）

阿久津守男（茨城）　東經　岩淵陸三（岩手）
新井正義（埼玉）　磯田榮八（北海道）
飯塚英助（秋田）　京經　瓜田稜威雄（青森）
飯島修（茨城）　京法　海老原治三郎（茨城）
飯久保貞雄（埼玉）　東文　小笠原慈瑛（岐阜）
石原家忠（東京）　神戸商大　葛西政正（青森）

瀧野澤榮一（青森）　京文
多田勝（京都）　京文
永井孝（栃木）　東文
永妻紀悅（千葉）
額賀誠（茨城）　東經

理科甲類（三十一名）

淺岡義光（青森）　金澤
一戶春俊（青森）　新醫
井澤清七（青森）　京醫
大見良秀（愛知）　岡醫
小川保（岡山）　東京工大
木村靜雄（神奈川）　京都
齋藤博（北海道）　東北工

波多野二郎（北海道）　東法
馬場勵（北海道）　京法
福川宅一（愛媛）
蓬澤武夫（東京）　東文
堀光夫（愛知）　神戸商大

坂上二郎（青森）　京理
鈴木正三郎（青森）　東北醫
鈴木一郎（東京）　日本醫
關川安世（千葉）
關戶正義（長崎）
關寅太郎（長野）　明醫
高橋謹吾（山形）

秡尾義明（青森）　京法
村居伍市（東京）　京法
依田清（長野）　京經
三鬼實（福島）　東經
宮川儀逸（青森）　京文
山內柾一（青森）
萬次郎（岩手）　東經
渡邊政之助（秋田）　東經
渡邊肇（茨城）　東法
風間誠三郎（山梨）　東經
櫻井新次郎（茨城）　京經
鹽川甚之助（長野）　京法
鈴木正義（茨城）　京法
須田禎一（茨城）　東文
高野忠雄（東京）　京法

高橋信太郎（秋田）　新醫
高橋武男（千葉）　千葉醫
高柳勝雄（北海道）　東北工
竹內謙吉（東京）　東工
武源一（東京）
田邊周藏（青森）　新醫
寺田清（青森）　東北醫

東北理　羽賀與七郎（青森）
京理　波多野三郎（神奈川）
東北工　原　進（神奈川）
　増田覺之（埼玉）

理科乙類（三十三名）

市川　功（青森）
●伊藤伍郎（秋田）
●今橋　阜（愛知）
新醫　大原　保（福島）
　大町久藏（山形）
　大戸道夫（福島）
千醫　大和田春郎（秋田）
　岡本愛光（大分）
　松野泰夫（東京）
新醫　眞部義雄（新潟）
東北醫　三上俊治（青森）
東北法文　三浦直（青森）
千醫　小田島信四郎（岩手）
●小山貞（青森）
東北醫　奥村正（北海道）
千葉醫　川崎新三郎（青森）
九州醫　清川彰（千葉）
　北川貞壽（秋田）
東北醫　工藤隆司（青森）
　工藤清之助（青森）
　茂又弘德（秋田）
京理　山本明（東京）
　小泉六郎（秋田）
・小林豐吉（新潟）
東北醫　齋藤平三郎（山形）
東北法文　齋藤琢（宮城）
新醫　佐藤正一（山梨）
　佐藤誠一（青森）
東醫　神久策（青森）
　杉田武（岩手）

東北醫　高橋榮穗（山梨）
　竹原平一（靜岡）
東北醫　田村斌夫（德島）
　外川米吉（千葉）
新醫　引田雄二（秋田）
東北醫　細川久喜（岩手）
東北醫　前田秀雄（北海道）
　松本銈太（神奈川）
東北醫　增田桓一（靜岡）

○敷地及建物

一、敷地

青森縣弘前市大字富田町字富野及富田字名屋場ニ跨リ面積二萬百七十四坪外ニ官舍用敷地千四百五十三坪一二〇アリ

二、建物

所用別	構造	坪數（建）（延）
本館（教室及事務室）	木造二階建	三七五
		延七五〇
講堂及玄關	同平家建	一三六、一四一
閱覽室	同	七〇
書庫	鐵筋コンクリート二階建	建二五
		延五〇

博物教室及實驗室	木造平家建	地下室 一八〇
		四、五
温室	鐵筋硝子張	一〇
物理教室及實驗室	木造平家建	一六五
蓄電池室	同	一〇
化學教室及實驗室	同	一六五
硫化水素室	同	五
藥品庫	煉化造平家建	五
生徒控所及銃器庫	木造平家建	一二六
生徒昇降口	同	一〇
雨天体操場	同	一二〇
劍道、柔道場	同	九六
弓道場	同	九

生徒集會所	木造二階建	延	三九、八七五	
宿直室及小使室	同	建	七一、七五〇	
倉庫	同	平家建(二棟)	二〇	
揚水ポンプ室	同	平家建	三、七五	
便所	同	(三棟)	一六	
渡ヶ廊下	同		一、二八七	
寄宿舍	木造二階建	(六棟)	建 四一四、〇〇〇	
事務室	同		延 八二八、〇〇〇	
食堂、炊事場、浴室	同	平家建	一六七	
病室	同		地下室 一、九二五	
物置	木造平家建		六二	
洗面所	同	(五ヶ所)	二二、五	

下足場	同	(三ヶ所)	一二	
便所	同	(七棟)	二八	
渡廊下	同		一一二、七五	
校長官舍	木造二階建		建 四四、二五	
生徒監官舍	木造平家建		延 五〇、五	
奏任官舍	同	(六棟)	四〇	
判任官舍	同	(二棟)	一九〇、五	
附屬物置	同	(九棟)	四〇	
傭外國人官舍	同	二階建(二棟)	二二、五	
附屬物置	同	平家建(一棟)	建 四六、一六	
揚水ポンプ室	同	(一棟)	延 七六、一六	
弓道場	同	(同)	六	
	同	(同)	三、七五〇	
	同	(同)	九、〇〇〇	

機關室	周圍鐵筋コンクリート屋根 同（同）	建	二二、七五〇
物置	木造平家建（同）	建	一〇、〇〇〇
計		建 延	三、〇四六、八七六 三、九九八、九二六

附錄

○弘前高等學校校友會規則

總　則

第一條　本會ハ弘前高等學校校友會ト稱ス

第二條　本會ハ本校職員生徒和衷協同心身ノ向上ヲ圖リ善良ナル校風ヲ發揚スルヲ目的トス

第三條　本會會員ヲ分チテ左ノ三種トス

一、特別會員　職員（本校奮職員及卒業生並役員會ノ推薦ニヨリ會長ノ承認ヲ得タル者）

一、通常會員　生徒

一、賛助會員

第四條　本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一、總務部

一、學藝部

一、辯論部
一、新聞雜誌部
一、柔道部
一、劍道部
一、弓道部
一、野球部
一、庭球部
一、角力部
一、陸上競技部
一、スキー山岳部
一、蹴球部
一、乘馬部

第五條　各部選手ハ其ノ部長ノ推薦ニヨリ會長之ヲ指名ス

役員

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長　一名
一、副會長　一名
一、理事　二名
一、部長　各部一名
一、會計掛、庶務掛　各若干名
一、代議員　各級二名
一、各部委員　各六名

但會長ニ於テ必要ト認ムル時ハ各部委員ノ數ヲ增減スルコトヲ得

第七條　會長ニハ學校長ヲ推戴ス

會長ハ會務ヲ總理ス

第八條　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ルモノトス

第九條　理事ハ特別會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

理事ハ會長ヲ輔ケテ會務ヲ掌理ス

第十條　部長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス部會計掛及庶務掛ハ會長ノ命ヲ受ケ會計及庶務ヲ分掌ス

第十一條　會計掛及庶務掛ハ特別會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

第十二條　總務部委員ハ文科、理科各三名ヲ通常會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

總務部委員ノ選擧細則ハ別ニ之ヲ定ム

總務部委員ハ本會ノ會計及ヒ決算ニ關スル事務ヲ分掌シ併セテ會務ノ連絡統一ヲ圖ルモノトス

第十三條　代議員ハ各級通常會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

代議員ハ第二學年以上ニアリテハ毎年四月之ヲ定メ第一學年ニアリテハ毎年九月之ヲ定ム

但第一學年ノ九月以前ニ於ケル代議員ハ各級級長ヲ以テ之ニ充ツ

代議員ハ其級ヲ代表シ役員ニ列ス

第十四條　各部委員ハ總務部ヲ除キ其ノ部長ノ推薦ニヨリ會長之ヲ定ム

委員ハ部長ヲ輔佐シ其ノ部ノ事務ヲ分掌ス

第十五條　理事、部長及各部委員ハ毎年十一月三十日迄ニ之ヲ定メ其ノ任期ヲ一ケ年トス

役員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第十六條　會員ハ役員ニ委囑又ハ選擧セラレタルトキハ相當ノ事由ナクシテ辭スルコトヲ得ス

第十七條　役員中闕員ヲ生シタルトキハ規定ニ從ヒ會長之ヲ補闕ス

但補闕役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

會議

第十八條　本會規則改正、豫算、臨時收入、支出其他會長ニ於テ重要ト認メタル事項議決スル爲メ役員會ヲ開ク

代議員ノ半數以上若シクハ各委員ノ半數以上ノ請求アリタルトキハ役員會ヲ開クコト、ス

第十九條　役員會ハ左ノ役員ヲ以テ組織シ役員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

一、會　長

一、副會長

一、理　事

一、部　長

一、總務部委員

一、代議員

一、各部委員　各二名

會長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ以上ノ外會員ヲシテ出席セシムルコトアルヘシ

會員ハ役員會ヲ傍聽スルコトヲ得

第二十條　凡テ役員會ニ於テ議決シタル事項ハ會長ノ認可ヲ得ヘキモノトス

第二十一條　役員會議ハ會議ニ出席スヘキ役員ノ半數以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

役員會ニ於テ議決權ヲ有スルモノハ理事、各部長、總務部委員一名、各代議員、各部委員十名トス

第二十二條　出席セル議決權ヲ有スル者ノ二分ノ一以上ノ贊成アルニアラサレハ議決ヲナスコトヲ得ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニヨル

會　計

第二十三條　本會會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十四條　本會會費ヲ左ノ如ク定ム

一、通常會員ハ一ヶ年金十五圓ヲ第一學期八圓、第二學期七圓授業料ト同時ニ納付スヘ

シ

但休學ニヨリ授業料ヲ免除又ハ半減セラレタル場合ハ徴收セス通常會員ハ入會金ト

シテ入會ノ際前項ノ會費ト共ニ金五圓ヲ納付スヘキモノトス

一、特別會員ハ全体ヨリ年額金五百圓ヲ納付スヘキモノトス

第二十五條　會員ハ會費ノ外會員又ハ會員外ニ對シ寄附ヲ需ムルコトヲ得ス寄附ヲ申出ツ

ルモノアルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス

第二十六條　入會金ノ二分ノ一以上及其ノ預金利子ハ基本金ニ繰入ルヽモノトス

第二十七條　豫算ハ理事、總務部々長及總務部委員ニ於テ査定シタル豫算案ニ基キ役員會

ノ議決ヲ經テ之ヲ決定ス

第二十八條　各部委員ハ毎年四月三十日マテニ前年度決算書ヲ作成シ部長ノ承認ヲ經テ總

務部ニ提出スヘシ

第二十九條　會計細則ハ別ニ之ヲ定ム

總務部委員選擧細則

第一條　總務部委員ハ文科、理科共ニ第二學年生ヨリ二名宛第一學年生ヨリ一名宛ヲ各

科毎ニ選擧スルモノトス

第二條　選擧ハ單記無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

第三條　總務部委員ノ選擧ハ他部委員ノ決定前ニ之ヲ行ヒ投票及開票ノ日時並開票場ハ

會長之ヲ定メ五日前ニ公示スルモノトス

第四條　選擧ハ各級教室ニ於テ學級主任監督ノ下ニ所定ノ投票用紙ヲ以テ之ヲ行ヒ學級

主任ハ投票ヲ一括シテ總務部長ニ差出スモノトス

第五條　開票ハ特別會員及通常會員中ヨリ臨時ニ會長ノ命シタル若干名ノ開票委員ニヨ

リテ之ヲ行ヒ得票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選トス

會計細則

第一條　本會會計ハ會長之ヲ統轄ス

第二條　本會ノ出納ニ關スル諸般ノ事務ハ會計係之ヲ掌ル

第三條　各部會計ハ部長之ヲ監督ス

第四條　會費、入會金、預金利子及寄附金等ヲ收入トシ一切ノ支拂ヲ支出トス

第五條　收入豫算ハ之ヲ會費、入會金、預金利子及臨時收入ノ各項ニ分ツ

第六條　支出豫算ハ之ヲ左ノ項ニ分ツ

一、各部費

一、對外試合費

一、豫備費

第七條　豫備費ハ支出金額ノ百分ノ五以上トシ避クヘカラサル豫算ノ不足及ヒ豫算外ノ支途ニ充ツ

豫備費ヲ支出セントスルトキハ會長之ヲ決ス

第八條　各部ハ翌年度ノ豫定經費ヲ十二月二十日迄ニ部長ヲ經テ總務部ニ提出スヘシ

第九條　物件購入又ハ修繕セントスルトキハ各部委員ハ所定ノ請求傳票ニ必要事項ヲ記入シ部長ノ檢印ヲ得テ會計係ニ差出スモノトス

會計係ハ前項ノ請求傳票ヲ接受シタルトキハ直ニ購入又ハ修繕ヲナシ之ヲ請求者ニ交付スヘシ

第十條　旅費其ノ他前拂ヲ要スルモノハ事情ヲ具シテ前條ノ手續ヲナスヘシ

第十一條　前二條ノ規定ニ依ラスシテ物件ノ購入、修繕其ノ他ノ契約ヲナシタルトキハ當事者ノ責任ニ歸シ本會ハ一切之カ支拂ヲナサス

第十二條　會計掛ノ管理スル帳簿類左ノ如シ

一、豫算差引簿

一、現金出納簿

一、備品臺帳

一、支出明細簿

第十三條　各部ノ管理スル帳簿類左ノ如シ

一、豫算明細簿
一、備品明細簿
一、物品購入簿

第十四條　決算書ニハ經費豫算額及ビ支出額ヲ明記スヘシ

第十五條　本會ノ決算書ハ總務部ニ於テ監査ヲ了シタル後會計掛之ヲ總括シ會計ノ承認ヲ經ヲ適宜全會員ニ公示スヘシ

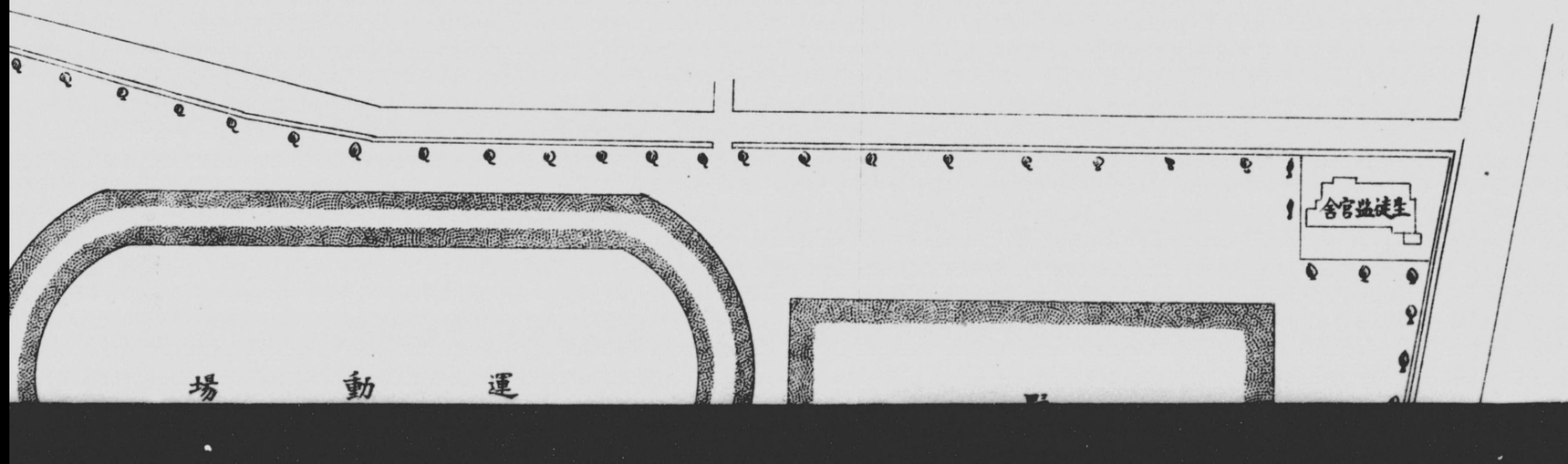
會員ハ會計ニ關スル帳簿ヲ閲覧スルコトヲ得

第十六條　會長ハ役員中ヨリ若干名ノ會計檢査員ヲ命シ毎年一回以上各部ノ會計ヲ檢査セシム

前項檢査ノ結果ハ之ヲ會長ニ報告スヘシ

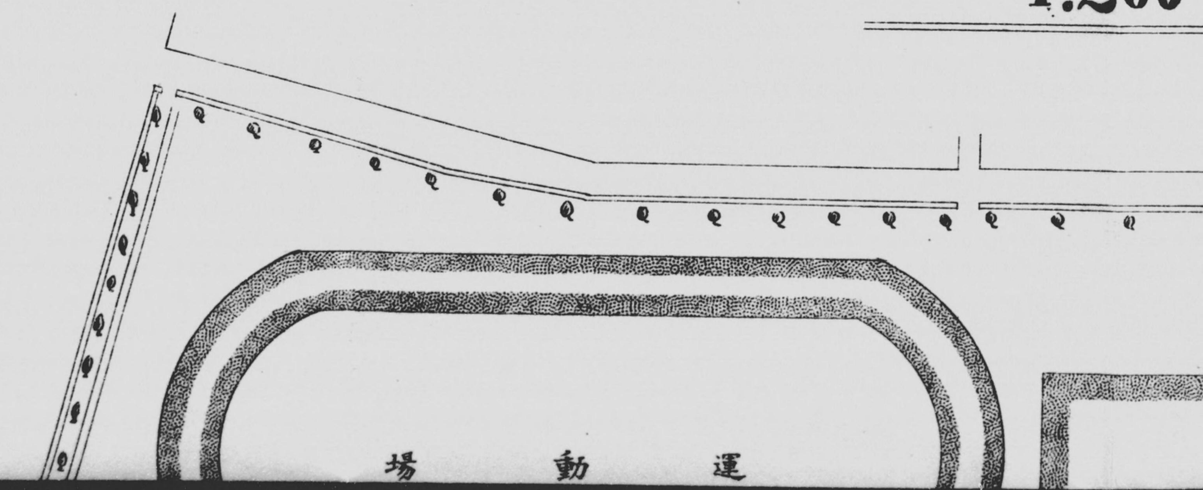
弘前高等學校平面圖

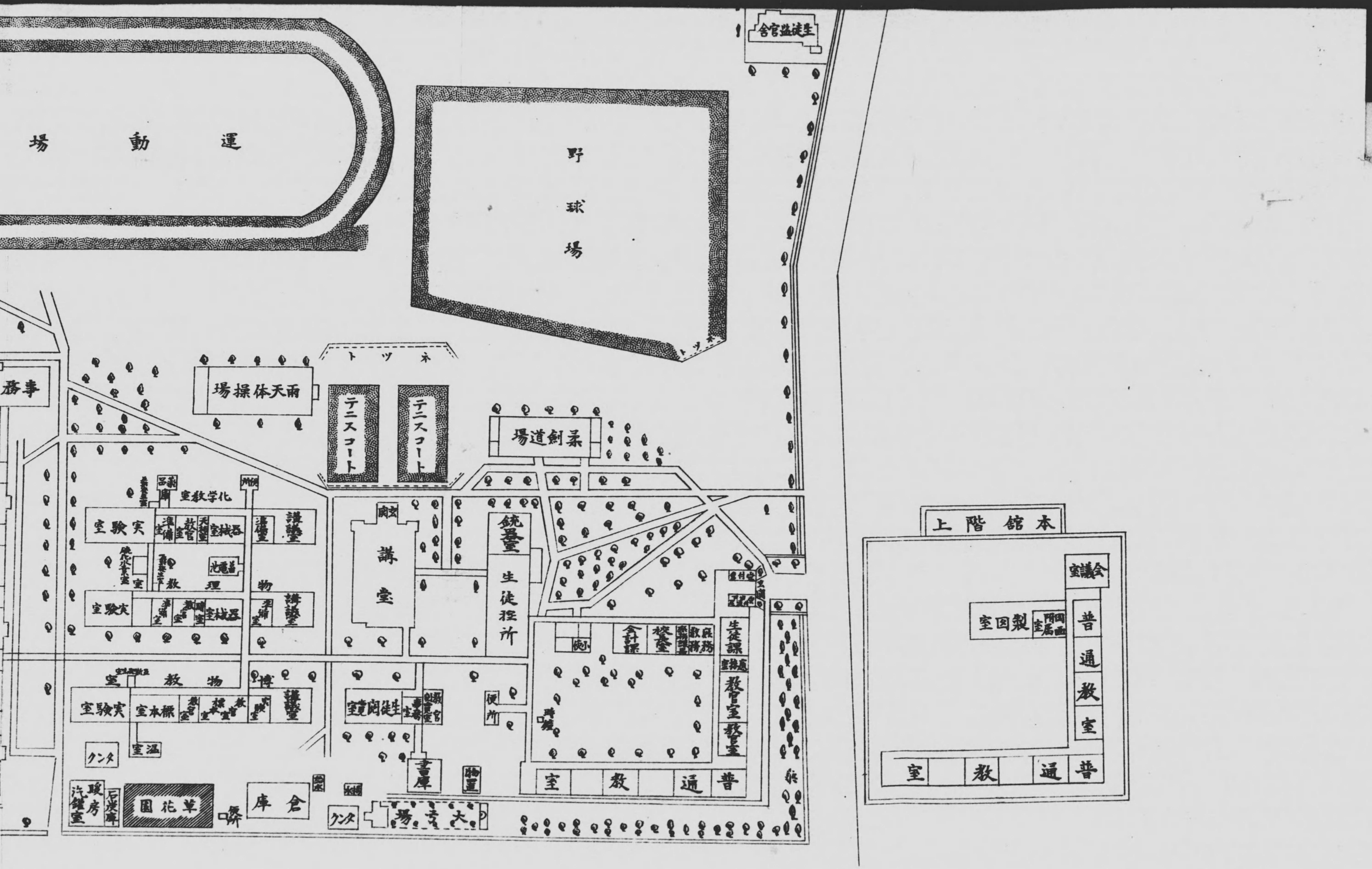
縮尺 1/1,200 KEN

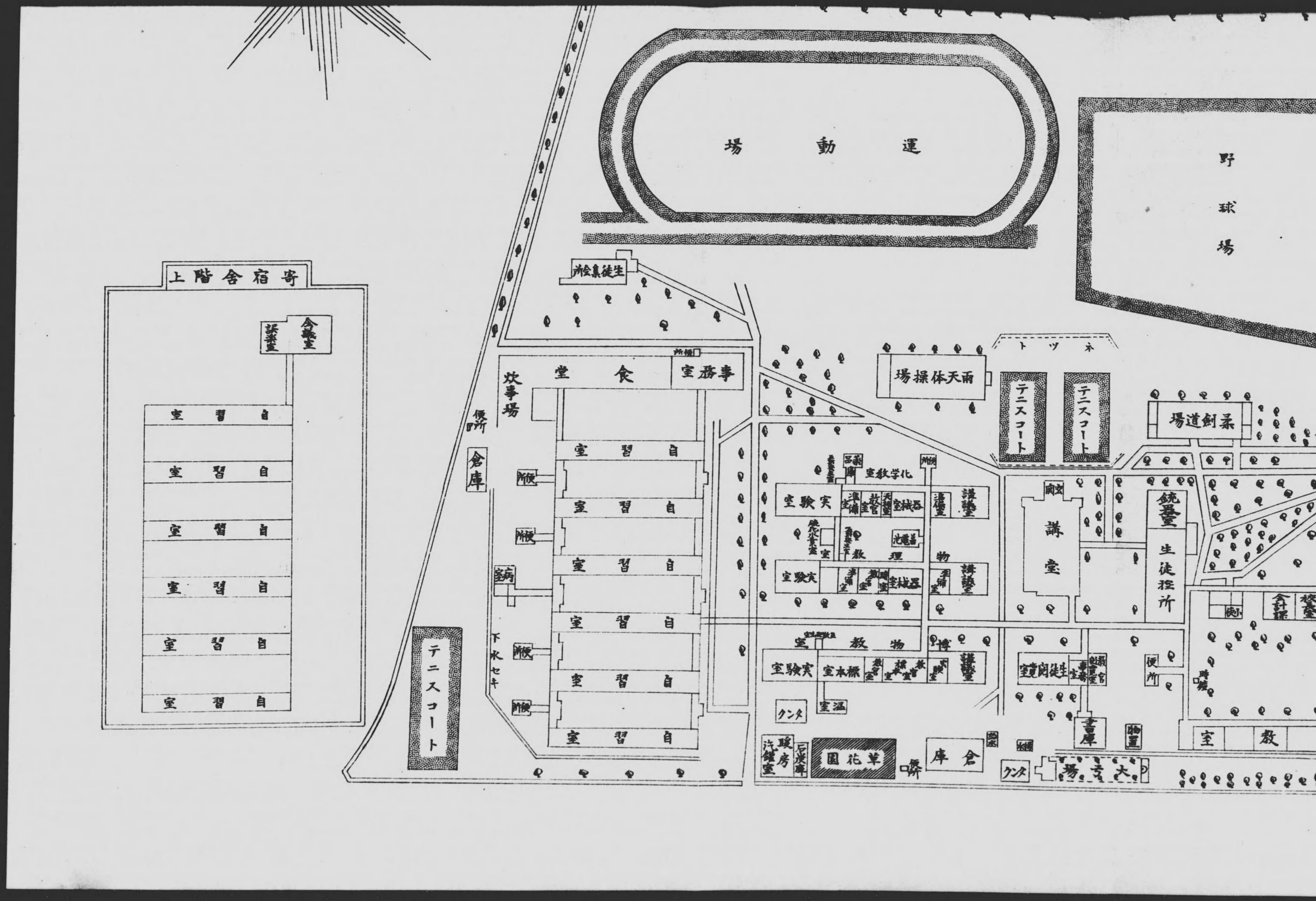


高等學校平面圖

縮尺 1/1,200




運動場
野球場
生徒監官舍
事務
雨天体操場
テニスコート
テニスコート
柔剣道場
化学教室
実験室
器械室
講義室
講堂
銃器室
生徒控所
生徒課
教官室
教官室
教務
校長室
会計課
生徒閲覧室
便所
書庫
物置
普通教室
実験室
標本室
教官室
教官室
講義室
温室
クンタ
草花園
石炭庫
暖房汽鑵室
倉庫
大弓場
クンタ
本館階上
会議室
製図室
普通教室
普通教室



運動場
野球場
寄宿舎階上
自習室
生徒集会所
食堂
事務室
炊事場
便所
倉庫
病室
下水セキ
テニスコート
雨天体操場
ネット
テニスコート
テニスコート
柔剣道場
化学教室
実験室
講堂
銃器室
生徒控所
教室
物理
物教室
実験室
標本室
温室
クンタ
草花園
倉庫
大弓場
書庫
物置

昭和四年十月三日印刷
昭和四年十月五日發行　【非賣品】

弘前高等學校

弘前市相馬町
印刷所　弘前印刷株式會社

283
44